

## 各分野における平成 30 年度（9 月末）の取組状況 及び今後に向けた取組について

- 1 表の見方について . . . . . 1 ページ
- 2 農業分野 . . . . . 2 ～ 6 ページ
- 3 林業分野 . . . . . 7 ～ 8 ページ
- 4 水産業分野 . . . . . 9 ～ 11 ページ
- 5 商工業分野 . . . . . 12 ～ 16 ページ
- 6 観光分野 . . . . . 17 ～ 22 ページ
- 7 サイクリング専門委員会 . . . . . 23 ～ 25 ページ
- 8 住宅分野 . . . . . 26 ～ 28 ページ

◆ 「年度末目標値における各時点の評価」について

- ・ 達成状況を客観的に評価し、以下により 4 段階で評価を実施。

区分	評価基準	
S	「各年度末目標値」とその時点の「実績値」を比較し評価。	・ その時点で年度末目標値を秀でて達成したもの ⇒ 達成率 125%以上 (H30 年度より)
A		・ その時点で年度末目標値を達成したもの ⇒ 達成率 100%以上 125%未満
B		・ その時点で年度末目標値をほぼ達成したもの ⇒ 達成率 60%以上 100%未満
C		・ 達成に向けて十分な進展が見られなかったもの ⇒ 達成率 60%未満のもの

◆ 指数及び目標値に対する達成率について

- H30 年度の各取組の「当初目標値」に対する「H30 年 9 月末時点」の達成率を記載。
- H30 年 9 月末時点で評価ができないもの、数値で表せないものは「\*」を記載。

**表の見方について**

平成30年度の実績実績 【観光分野】

基準日	各年度末目標値 (観光施設入込客数)	実績値 (達成率)	評価 (年度末目標 / 時点の実績値)	H30年度末見込数	備考【各施設利用者数】(人)
30年度 9月末	120万人以上 ※暦年	80.9万人 (暫定値 67.4%)	B	107.6万人(見込み)	①114,524 ②20,104 ③257,669 ④7,491 ⑤1,468 ⑥8,139 ⑦173,947 ⑧13,692 ⑨77,793 ⑩83,971 ⑪50,702
29年度 3月末 (12ヶ月実績)	120万人以上 ※暦年	107.7万人 (89.8%)	B	◇見込根拠 9月末実績+過去3年 (10月~12月数)の平均値 ※ 80.9 + 26.7(万人)	①163,967 ②25,747 ③345,985 ④12,798 ⑤2,193 ⑥40,200 ⑦211,207 ⑧19,205 ⑨71,771 ⑩109,768 ⑪74,794
29年度 9月末		81.6万人 (当時暫定値 68.0%)	-		①118,267 ②19,745 ③269,932 ④9,669 ⑤1,725 ⑥31,956 ⑦159,741 ⑧13,298 ⑨52,430 ⑩82,597 ⑪56,291

各分野名

各分会名の目標および年間数値

H30年度末の最終見込数

最終見込数の根拠

H30年度のこれまでの取組とこれからの取組について記載

取組の総評  
(H30年度9月末までの取組とH31.3月末までの取組について)

【9月末までの取組について】  
各戦略の柱の取組目標は、概ね計画どおり達成しており、観光客入込客数もH29年度9月と比較すると80.9万人(前年比 約99.1%)であり、ほぼ同程度で推移している。

【3月末までの取組について】  
「よーまの休日～自然&体験キャンペーン(ポスト幕末維新博)」に合わせ、ヤ・シィパークを魅力ある施設へと磨き上げるためのグランドデザインの策定やロケーションを活かしたグランピングができる大型ベルテントの設置等を実施する。併せて、香南市観光施設連絡会において、ヤ・シィパークを核としてこれまで磨き上げてきた歴史も絡めた「自然・アクティビティ型の観光クラスター形成」に取り組む。  
また、物部川DMO協議会や観光協会と連携し、旅行会社へのセールス実施やサイクリングを活用した市内周遊イベントを開催する。  
また、外国人観光客がどれぐらい市内を訪れているのかを把握するため、市内観光施設に協力を依頼し、外国人観光客入込数の把握ができる体制を構築する。

※ 対象観光施設(月見山こどもの森 ①、あぐりのさくら ②、らぎ市 ③、あぐりのさくら ④、らぎ市 ⑤、あぐりのさくら ⑥、らぎ市 ⑦、あぐりのさくら ⑧、らぎ市 ⑨、あぐりのさくら ⑩、らぎ市 ⑪)

基準日現在の目標に対する数値と達成率

基準日現在の達成率に対する評価(評価基準は当資料表紙裏を参照)

各事業の「H30年度目標」に対するH30.9月末の状況

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績(成果等)		総括	今後の取組(対策、改善について)【A】
			H30年度実績値(9月末実績)	指数及び目標値に対するH30.9月末時点の達成率		
広域観光の推進	2. 観光施設間の連携 ○香南市観光施設連絡会の開催(年4回) ○市内各地域の観光施設や宿泊施設等の相互交流や活動の活性化を行い、市内への誘客や周遊促進を図る。また、ポスト幕末維新博に向けた観光クラスター形成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光施設連絡会の開催</li> <li>連絡会の中で、観光施設の視察、見学を行うことで、施設間の情報共有を行う。</li> <li>ポスト幕末維新博に向け、体験も絡めた観光クラスター形成に向けた協議を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○香南市観光施設連絡会を1回開催。</li> <li>○クラスター形成については話し合いの場が設けられていない。</li> </ul>			<p>【H30年度内の取組】 H30年11月下旬に第2回目の連絡会を開き、入込状況等の情報共有を行うとともに、ポスト幕末維新博に向けて各施設の体験メニューの洗い出しやクラスター形成に向けた協議を行う。</p> <p>【H31年度以降の取組予定】 H31年度以降も、各施設の情報共有を図るとともに、市内宿泊者限定のクーポン券の発行やモデルコースの配布など宿泊施設と観光施設をつなぎ、周遊していただく施策などを展開する。 また、InstagramなどのSNSを活用したフォトコンテストなどを実施し、SNSを使った情報発信に取り組む。</p>
	3. 歌舞伎でまちおこし ○イベント参加者数(延べ) 2,150人	<ul style="list-style-type: none"> <li>土佐絵金歌舞伎定期公演(7/21・22 800名)</li> <li>「九團次の会」の開催(6/15 139名)</li> <li>上方落語会(7/7 49名)</li> <li>香南市婚活セミナー(10/28 12名)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○イベント参加者数延べ 988人</li> </ul> <p>※H29年度9月末までの実績/目標値(達成率) 4,015 / 3,960人(101.3%)</p>	45.9%	<p>H30年度は、文化庁等の補助金を活用せず、「歌舞伎でまちおこし実行委員会」の自主財源や公演収入内で実施できる事業に取り組んでいるため、目標数値はH29年度より低くなっている。</p> <p>夏に開催された「絵金祭り」の来場者が少なく、絵金歌舞伎を見学する方も減少した。</p> <p>【参考:絵金まつり来場者数】 H30年度: 15,000人 H29年度: 18,000人</p>	<p>【H30年度内の取組】 市主催の婚活事業と連携するなど、新たな角度の取組みを行っていることから、今後も他事業とのリンクを図る事を検討する。 また、ワークショップ等を開催し歌舞伎に触れてもらう機会を創出し、歌舞伎でまちおこしの知名度向上を図る。</p> <p>【H31年度以降の取組予定】 「土佐絵金歌舞伎伝承会」や「弁天座運営委員会」と連携し、歌舞伎公演を引き続き行っていくとともに、H30年度に実施する「歌舞伎×「婚活」」のような新たな分野との連携を図るため、実行委員会内で検討を行う。</p>

「各年度末目標値」を目指すための「各事業名」

「各年度末目標値」を目指すための「各事業名」と「H30年度末目標」

各事業の取組状況等について記載

各事業の「H30年度目標」に対するH30.9月末の達成率  
・数値で表せるものは数値。  
・達成度が9月末で表せないもの等は「\*」で記載。  
・前年同比できるものについては数字を赤文字で記載

各事業の「H30年度目標」に対するH30.9月末の振り返りを行い、課題等を抽出。

抽出された左記の課題等について、H31年3月までどのような取組を行い、目標にむけて取り組むか、また、H31年度以降にどのような取組をおこなっていくかを記載

平成30年度の取組実績【農業分野】

	各年度末目標値 (新規就農者数)	実績値 (達成率)	評価 (年度末目標 / 時点の実績値)	H30年度末見込数 ※農業部会については 確定値	備考(新規就農者について)
30年度 9月末	12人	9人(注1) (74.2%)	B	9人(H30年度確定値)	■ Uターン者：5人 Iターン：4人 ■ 品目：生姜 ビーマン ニラ(ハウス) みかん(ハウス) トマト(ハウス)
29年度 3月末 (12ヶ月実績)	12人	7人(注2) (58.3%)	C	◇見込根拠 高知県中央東農業振興セン ターへの問い合わせによる。	■ Uターン者：4人 Iターン者：3人 ■ 品目：すいか みかん ビーマン ニラ 人参 ブロッコリー 生姜 オクラ スナップエンドウ
29年度 9月末		7人(注2) (当時暫定値 58.3%)	*		

※ 目標値である「新規就農者数」は、毎年10月末から11月にかけて高知県中央東農業振興センターより公表される「前年度の新規就農者数」。

よって、公表された前年度実績数が実績値となるため、H30年度の実績は9人で確定。(注1)はH29年度の新規就農者数実績、(注2)はH28年度の実績を記載。

■ 取組の総評 (※ 左の数値に対しての総評)  
(H30年度9月末までの取組とH31.3月末までの取組について)

<p>【9月末までの取組について】 目標値である「新規就農者数」は、毎年10月末から11月にかけて高知県中央東農業振興センターより公表されるが「前年度の新規就農者数」であり、H30年度の目標値である「新規就農者数12名」の目標に対し、新規就農者は9人であることから「B判定」とした。 H30年度の就農相談は10件あったが、就農を安易に考えている方や、今後の予定を立てられていない方が多く、就農するまでには至らなかった。 今後も就農に向けたイベントに関係機関と参加し、周知をしていくよう努め、H31年度の目標値である15人に繋げられるように各取組を進めていく。</p> <p>【3月末までの取組について】 各取組を前進させ整備などを行うとともに、東京や大阪で行われる農業人フェアや高知暮らしフェアなどの新規就農に向けたイベント等に参加し、周知に努める。 また、土佐香美農業協同組合の広報にも掲載をお願いし、周知の強化に努める。</p>
--

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括【C】		今後の取組 (対策、改善について)【A】
	取組に対するH30年度の 目標値【P】		H30年度実績値 (9月末実績)	指数及び目標値に 対するH30.9月末 時点の達成率	原因及び課題(分析)	
基盤整備・防災  新	◆農業生産基盤の充実 (県防災減災事業)					
	1. 防災施設対策整備 ○黒谷ため池 (改修工事) 1箇所	事業完了に向けて取組を実施。 ・11月 仮設工事実施 ・H31.3月までに改修工事発注	○黒谷ため池 (仮設工事) 実施中	*	県営事業により地元関係者との調整を行いながら仮設工事完了を目指す。	【H30年度内の取組】 本改修工事の発注に向け実施調整を行い、年度内での工事着手を目指す。
	2. 排水機場施設整備 ○吉原排水機場 (ポンプ及び電気工事) 1箇所	事業完了に向けて取組を実施。	○吉原排水機場 (ポンプ及び電気工事) 1箇所 実施準備中	*	県営事業での本年度発注に向け、実施調整中である。	【H30年度内の取組】 H31年度に繰越予定であり、H30年度は1部施工予定。 今後も県と実施調整を密に行いながら早期完了を目指す。
	3. 地域農業水利施設事業 ○烏川統合堰・総合堰 (改修工事) 計 2箇所	事業完了に向けて取組を実施。 ・統合堰:11月契約。工事を進めている。 ・総合堰:11月契約。H30年度内完成予定。	○烏川統合堰・総合堰 (改修工事) 設計作成中	*	H30年度事業割当に基づき随時工事を実施を行っていく。	【H30年度内の取組】 実施調整を行いながら年度内の竣工を目指す。
	4. 農業水利施設保全合理化作業 ○H31年度事業採択に向けた南国、 香美、香南を含む物部川統合堰の機 能診断保全計画書を作成。	H31年度事業採択に向けた南国、香美、香南を含む物部川統合堰の機能診断保全計画書を作成。 本年度に計画書を作成し、採択に向け調整しているがH31年度の着手は困難な状況であり、H32年度事業採択に向け進める。	○再調整が必要。	*	7月豪雨により本計画施設の1部が被災、復旧の必要性が生じたため本事業での実施計画作成を見直すため計画年度をH31年度へ変更。	【H30年度内の取組】 H30年災害査定後、災害復旧事業との調整のため、計画書作成を行いながら、3市(香美市、南国市、香南市)との負担金調整を早期にまとめていく。  【H31年度以降の取組予定】 H32年度の事業採択に向け、取り組む。
	5. 農地耕作条件改善事業(頭首工) ○門田堰・東佐古用排水路 (測量設計) 計 2箇所	事業完了に向けて取組を実施。 ・門田堰測量設計 10月契約済 ・東佐古用排水路 11月入札予定	○門田堰・東佐古用排水路 (測量設計) 計 2箇所	*	順調に進めることが出来ている。	【H30年度内の取組】 地元協議調整を行いながら用排水路測量設計業務完了を目指す。
	6. 土地改良施設維持管理適正化事業 ○小林堰 (ゴム体修繕工事) 1箇所	事業完了に向けて取組を実施。 ・12月契約予定	○小林堰 (ゴム修繕工事) 設計書作成中	*	H30年度事業割当に基づき、随時実施を行っていく。	【H30年度内の取組】 代表者と実施調整を行いながら工事完了を目指す。
	7. 工業用水道整備事業 (水路・道路等整備) ○水路3件 (西中筋7水路・中組南11水路 ・中組南18水路) 道路1件(ノ丸1号線道路)	事業完了に向けて取組を実施。 ・西中筋7水路 10月完成 ・中組南水路 11月発注 ・ノ丸1号契約済 ・上記全てH30年度内に完了見込み。	○西中筋7水路着手済。 中組南11、18水路 実施準備中	*	順調に進めることが出来ている。	【H30年度内の取組】 地元関係者との協議を密にしながら要望箇所の早期竣工に向け取り組んでいく。
	8. 農業集落排水整備 (上岡地区集落道改良工事) ○ 8水路・16水路 計 2件	事業完了に向けて取組を実施。 ・12月に発注し30年度内に完了見込み。	○水路2箇所 実施設計書作成中	*	H30年度実施箇所の施工調整を進めていく。	【H30年度内の取組】 地元協議を図りながら実施箇所の早期竣工を目指す。

平成30年度の取組実績【農業分野】

	各年度末目標値 (新規就農者数)	実績値 (達成率)	評価 (年度末目標 / 時点の実績値)	H30年度末見込数 ※農業部会については 確定値	備考(新規就農者について)
30年度 9月末	12人	9人(注1) (74.2%)	B	9人(H30年度確定値)	■ Uターン者：5人 Iターン：4人 ■ 品目：生姜 ビーマン ニラ(ハウス) みかん(ハウス) トマト(ハウス)
29年度 3月末 (12ヶ月実績)	12人	7人(注2) (58.3%)	C	◇見込根拠 高知県中央東農業振興セン ターへの問い合わせによる。	■ Uターン者：4人 Iターン者：3人 ■ 品目：すいか みかん ビーマン ニラ 人参 ブロッコリー 生姜 オクラ スナップエンドウ
29年度 9月末		7人(注2) (当時暫定値 58.3%)	*		

■ 取組の総評 (※ 左の数値に対しての総評)  
(H30年度9月末までの取組とH31.3月末までの取組について)

【9月末までの取組について】  
目標値である「新規就農者数」は、毎年10月末から11月にかけて高知県中央東農業振興センターより公表されるが「前年度の新規就農者数」であり、H30年度の目標値である「新規就農者数12名」の目標に対し、新規就農者は9人であることから「B判定」とした。  
H30年度の新規就農相談は10件あったが、就農を安易に考えている方や、今後の予定を立てられていない方が多く、就農するまでには至らなかった。  
今後も就農に向けたイベントに関係機関と参加し、周知をしていくよう努め、H31年度の目標値である15人に繋げられるように各取組を進めていく。

【3月末までの取組について】  
各取組を前進させ整備などを行うとともに、東京や大阪で行われる農業人フェアや高知暮らしフェアなどの新規就農に向けたイベント等に参加し、周知に努める。  
また、土佐香美農業協同組合の広報にも掲載をお願いし、周知の強化に努める。

※ 目標値である「新規就農者数」は、毎年10月末から11月にかけて高知県中央東農業振興センターより公表される「前年度の新規就農者数」  
よって、公表された前年度実績数が実績値となるため、H30年度の実績は9人で確定。(注1)はH29年度の新規就農者数実績、(注2)はH28年度の実績を記載。

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括【C】		今後の取組 (対策、改善について)【A】
	取組に対するH30年度の 目標値【P】		H30年度実績値 (9月末実績)	指数及び目標値に 対するH30.9月末 時点の達成率	原因及び課題(分析)	
基盤整備・防災	◆防災への対策					
	1.農村地域防災減災事業 (避難タワーの県事業負担金) ○吉川地区避難タワー工事 1件	事業完了に向けて取組を実施。 ・11月 仮設工事実施 ・H31.3月までに改修工事発注	○吉川地区避難タワー 工事 実施中	*	繰越施工により、順調に進めている。	【H30年度内の取組】 本年度中に完了見込み。
	2.重油流出防止付装置燃料タンク 整備事業 (重油タンクの流出防止対策) ○重油タンク流出防止対策 26基 ・タンク整備 15基 ・防油堤 9基 ・ヒートポンプ 2基	事業完了に向けて取組を実施。	○重油タンク流出防止対策 19基 ・タンク整備 8基 ・防油堤 11基 ・ヒートポンプ 0基  ※H29年度9月末までの 実績/目標値(達成率) 7/21基(33.3%)	73.1%	園芸用ハウスで使用するタンクを燃料タンク整備事業で活用 するため、防油堤は目標よりも多くなっているが、流出防止タ ンクはほとんどの農家が設置を完了させており、目標値の半 分程の申請のため、目標まで届かない見込み。	【H30年度内の取組】 流出防止付燃料タンクは防災面でも役立つため、市の広報等 でも周知を図り、整備率をあげる。  【H31年度以降の取組予定】 本事業はH31年度までとなっており、未設置の農家に周知を 図り、設置率を上げていく。
経営改善・担い手	◆担い手対策の促進					
	1.担い手育成センター研修支援事業 ○担い手育成センター研修費補助 10人支給	広報等での周知を継続。	○担い手育成センター 研修費補助 1人支給(相談数 10件)  ※H29年度9月末までの 実績/目標値(達成率) 3/10件(30.0%)	10.0%	就農相談は10件あったが、就農を安易に考えている方や、今 後の予定を立てられていない方が多く、担い手育成センター へ行くまでに至っていない。	【H30年度内の取組】 これまで取り組んできた広報等での周知を継続し、将来的な 就農者の確保も視野に新規就農者の育成を図る。 【H31年度以降の取組予定】 就農相談時に担い手育成センターに入校するように推進し、 農業の基礎知識をつけていただけるように促していく取組を 行う。
	2.新規就農推進事業 ○7人 ・親元就農応援区分 3人 ・専業農家育成区分 4人	東京や大阪で開かれる県主催の「新農業人フェア」、 「高知農に就くフェア」等への参加に加え、 平成30年度は高知市のイオンモールでもPR活動 を実施した。 12月にも東京・大阪で行われる「高知暮らしフェ ア」へ参加し、周知拡大を図る。	○4人 ・親元就農応援区分 0人(※相談数：1件) ・専業農家育成区分 4人 (親元) ※H29年度9月末までの 実績/目標値(達成率) 3/3人(100%)	57.1%	就農の相談件数は1件あるが、12月以降に農業に転職する予 定。 就農制度の周知が弱いことが考えられる。	【H30年度内の取組】 周知拡大に取り組み、目標値へ近づけていく。 また、H30年度内に親元就農用の産地提案書を作成予定。  【H31年度以降の取組予定】 産地提案書を基に広報や土佐香美農業協同組合、振興セン ターと連携し、周知を図っていく。
3.農業次世代人材投資事業 ○経営開始型 10人支給(のべ数) 新規 5人	広報等での周知を継続。 ・H31年3月から新規支給予定者 1人あり。	○経営開始型 11人支給(のべ数) うち、新規 1人	90.0%	給付は1人に付き5年行われるため、H31年度までの累積給付者目標値 を10名としている。 目標に対し、9月末までの数字は11人となっているが、H30年9月ま でに新規で給付を受けている方は1人にとどまっている。 H30年度末までにさらに5人の給付が終了となることからH30.3月、 H31年度の目標値に向けた新規給付者の獲得のために周知を図る必 要がある。	【H30年度内の取組】 H30.3月末までに1人の新規給付者が予定されているが、加 えて4人の新規給付者の獲得を目指すため、周知を強化を図 る。 【H31年度以降の取組予定】 H30年度末で4名の給付が終了する。目標値を達成するため に引き続きPRをし周知を図り、新規者の獲得につながる周知 の実施する。	

平成30年度の実績【農業分野】

	各年度末目標値 (新規就農者数)	実績値 (達成率)	評価 (年度末目標 / 時点の実績値)	H30年度末見込数 ※農業部会については 確定値	備考(新規就農者について)
30年度 9月末	12人	9人(注1) (74.2%)	B	9人(H30年度確定値)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Uターン者：5人 Iターン：4人</li> <li>■ 品目：生姜 ビーマン ニラ(ハウス) みかん(ハウス) トマト(ハウス)</li> </ul>
29年度 3月末 (12ヶ月実績)	12人	7人(注2) (58.3%)	C	◇見込根拠 高知県中央東農業振興セン ターへの問い合わせによる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Uターン者：4人 Iターン者：3人</li> <li>■ 品目：すいか みかん ビーマン ニラ 人参 ブロッコリー 生姜 オクラ スナップエンドウ</li> </ul>
29年度 9月末		7人(注2) (当時暫定値 58.3%)	*		

※ 目標値である「新規就農者数」は、毎年10月末から11月にかけて高知県中央東農業振興センターより公表される「前年度の新規就農者数」。

よって、公表された前年度実績数が実績値となるため、H30年度の実績は9人で確定。(注1)はH29年度の新規就農者数実績、(注2)はH28年度の実績を記載。

■ 取組の総評 (※ 左の数値に対しての総評)  
(H30年度9月末までの取組とH31.3月末までの取組について)

<p>【9月末までの取組について】</p> <p>目標値である「新規就農者数」は、毎年10月末から11月にかけて高知県中央東農業振興センターより公表されるが「前年度の新規就農者数」であり、H30年度の目標値である「新規就農者数12名」の目標に対し、新規就農者は9人であることから「B判定」とした。</p> <p>H30年度の就農相談は10件あったが、就農を安易に考えている方や、今後の予定を立てられていない方が多く、就農するまでには至らなかった。</p> <p>今後も就農に向けたイベントに関係機関と参加し、周知をしていくよう努め、H31年度の目標値である15人に繋げられるように各取組を進めていく。</p> <p>【3月末までの取組について】</p> <p>各取組を前進させ整備などを行うとともに、東京や大阪で行われる農業人フェアや高知暮らしフェアなどの新規就農に向けたイベント等に参加し、周知に努める。</p> <p>また、土佐香美農業協同組合の広報にも掲載をお願いし、周知の強化に努める。</p>
---

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括【C】		今後の取組 (対策、改善について)【A】																
	取組に対するH30年度の 目標値【P】		H30年度実績値 (9月末実績)	指数及び目標値に 対するH30.9月末 時点の達成率	原因及び課題(分析)																	
経営改善・担い手	4.農業後継者推進事業	<p>広報等での周知を継続。</p> <table border="1"> <tr> <td>【参考】</td> <td>H29年度 3月末実績</td> <td>H30年度 9月末実績</td> <td>H30年度 3月末見込</td> </tr> <tr> <td>新規人数</td> <td>-</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>給付終了人数</td> <td>-</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>累積残人数</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>15</td> </tr> </table> <p>○農業後継者 15人支給(累積) 新規 3人</p>	【参考】	H29年度 3月末実績	H30年度 9月末実績	H30年度 3月末見込	新規人数	-	2	1	給付終了人数	-	2	0	累積残人数	14	14	15	○農業後継者 14人支給(H30.4~H30.9) 新規 2名	93.3%	給付は1人に付き2年行われるため、H31年度までの累積給付者目標値を15人としている。 目標に対し、9月末までの数字は14人となっているがH30年9月末までに新規で給付を受けている方は2人ととどまっている。 10月以降に新規の方が1人予定されており、H30年度の目標値は見通しが立っているが、H30年度末で9人の給付が終了となることから、H31年度に向けて周知を図る必要がある。	<p>【H30年度内の取組】</p> <p>香南市独自の取組であることを土佐香美農業協同組合や市の広報、新規就農イベント等で周知をし、新規者を確保していく。</p> <p>【H31年度以降の取組予定】</p> <p>H30年度末で9人の給付が終了することから、引き続きPRをし周知を図り、新規者の獲得につながる周知の実施する。</p>
	【参考】	H29年度 3月末実績	H30年度 9月末実績	H30年度 3月末見込																		
	新規人数	-	2	1																		
	給付終了人数	-	2	0																		
	累積残人数	14	14	15																		
5.実践型研修ハウス整備事業	<p>事業完了に向けて取組を実施。 ハウスの入札関係は進行中であり、H31.3に建設を終了予定。</p> <p>○ハウス面積 30a</p>	○ハウス面積 30a申請中	*	H29年度の事業であったが、用地買収が困難となり、H30年度より利用権の方法について検討を行い進めている。	<p>【H30年度内の取組】</p> <p>滞りなく事業を完了させる。</p>																	
◆経営の改善への対応																						
1.園芸用ハウス整備事業	<p>広報等での周知を継続。</p> <p>○中古・新規ハウス整備件数 19件</p>	<p>○ 14件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中古ハウス 2件</li> <li>・新規ハウス 12件</li> </ul> <p>※H29年度9月末までの実績/目標値(達成率) 4/15件(26.7%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中古ハウス 1件</li> <li>・新規ハウス 3件</li> </ul>	73.7%	中古ハウスは概ね予定通りであるが新規ハウスは中止案件が多く、当初目標には届かない可能性がある。	<p>【H30年度内の取組】</p> <p>H30年度の要望者は申請済であることから、円滑に建設を進めていく。</p> <p>【H31年度以降の取組予定】</p> <p>土佐香美農業協同組合、振興センターと連携し、事業を円滑に進めて行く。また、各広報誌や郵送物に案内を入れるなどして周知を図る。</p>																	
2.経営所得安定対策推進事業	<p>H30年度の対象者の対応は終わっている。 来年度に向けて周知を図る。</p> <p>○利用件数 1,000件</p>	<p>○利用件数 741件</p> <p>※H29年度9月末までの実績/目標値(達成率) 1,117/1,000件(111.7%)</p>	74.1%	米作のみに対する直接支払い交付金はH29年度で終了したため、その数値の分利用件数が減っている。 今年度の募集は終わっているため、来年度に向けて周知を図る。	<p>【H30年度内の取組】</p> <p>申請者への対応を随時行っていく。</p> <p>【H31年度以降の取組予定】</p> <p>目標数値の見直しを検討している。 H31年度は米作のみの農家を除いた件数とする。</p>																	
3.農地中間管理事業	<p>認定農業者に、年に1度、中間管理機構の案内文を送付。</p> <p>○利用件数 5件</p>	<p>○利用件数 1件</p> <p>※H29年度9月末までの実績/目標値(達成率) 2/5件(40.0%)</p>	20.0%	周知不足が考えられる。	<p>【H30年度内の取組】</p> <p>関係機関と連携し、耕作放棄地の解消を図る。</p> <p>【H31年度以降の取組予定】</p> <p>認定農業者については案内文の送付や連絡協議会での担当者説明を実施予定。また、認定農業者外の農家については、広報などで周知を行う。</p>																	
4.環境制御技術導入普及促進事業	<p>順調に導入されている。</p> <p>○利用件数 19件</p>	<p>○利用件数(施工中包含) 38件</p>	200.0%	当事業は要望が多いことから、H30年度で県の事業が終了するが、市も終了するか検討が必要。	<p>【H30年度内の取組】</p> <p>県の動向により、市は、事業も継続については検討する。</p>																	

平成30年度の取組実績【農業分野】

	各年度末目標値 (新規就農者数)	実績値 (達成率)	評価 (年度末目標 / 時点の実績値)	H30年度末見込数 ※農業部会については 確定値	備考(新規就農者について)
30年度 9月末	12人	9人(注1) (74.2%)	B	9人(H30年度確定値)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Uターン者：5人 Iターン：4人</li> <li>■ 品目：生姜 ビーマン ニラ(ハウス) みかん(ハウス) トマト(ハウス)</li> </ul>
29年度 3月末 (12ヶ月実績)	12人	7人(注2) (58.3%)	C	◇見込根拠 高知県中央東農業振興セン ターへの問い合わせによる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Uターン者：4人 Iターン者：3人</li> <li>■ 品目：すいか みかん ビーマン ニラ 人参 ブロッコリー 生姜 オクラ スナップエンドウ</li> </ul>
29年度 9月末		7人(注2) (当時暫定値 58.3%)	*		

■ 取組の総評 (※ 左の数値に対しての総評)  
(H30年度9月末までの取組とH31.3月末までの取組について)

**【9月末までの取組について】**  
目標値である「新規就農者数」は、毎年10月末から11月にかけて高知県中央東農業振興センターより公表されるが「前年度の新規就農者数」であり、H30年度の目標値である「新規就農者数12名」の目標に対し、新規就農者は9人であることから「B判定」とした。  
H30年度の就農相談は10件あったが、就農を安易に考えている方や、今後の予定を立てられていない方が多く、就農するまでには至らなかった。  
今後も就農に向けたイベントに関係機関と参加し、周知をしていくよう努め、H31年度の目標値である15人に繋げられるように各取組を進めていく。

**【3月末までの取組について】**  
各取組を前進させ整備などを行うとともに、東京や大阪で行われる農業人フェアや高知暮らしフェアなどの新規就農に向けたイベント等に参加し、周知に努める。  
また、土佐香美農業協同組合の広報にも掲載をお願いし、周知の強化に努める。

※ 目標値である「新規就農者数」は、毎年10月末から11月にかけて高知県中央東農業振興センターより公表される「前年度の新規就農者数」  
よって、公表された前年度実績数が実績値となるため、H30年度の実績は9人で確定。(注1)はH29年度の新規就農者数実績、(注2)はH28年度の実績を記載。

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括【C】		今後の取組 (対策、改善について)【A】	
	取組に対するH30年度の 目標値【P】		H30年度実績値 (9月末実績)	指数及び目標値に 対するH30.9月末 時点の達成率	原因及び課題(分析)		
経営改善・担い手	5.産地パワーアップ事業 ○利用件数の増加 ・環境制御 15件 ・結束機 10機 ・そぐり機 20機 ・ハウス資材 3件	順調に導入されている。 ・11/2 H31年度に向けて県と協議	○利用件数(施工中) ・環境制御 11件 ・加温機 1機 ・そぐり機 8機 ・ハウス資材 2件	*	H30年度に事業は終了する。 今後について、市としてどのように取組か検討が必要。	【H30年度内の取組】 県と協議を行い、継続に向けて要望をあげていく。  【H31年度以降の取組予定】 市独自の取組も視野に検討をしていく。	
	◆農産物のブランド化の推進と加工品の開発						
	1.農山漁村振興交付金事業 (6次産業化の取組によるビジネスづくり)	広報、メディア等での周知を実施。 今後は以下のイベントにてPR販促実施予定 ・10/11、12日都内 ・11/3 山北みかんこもれびマルシェ ・11/10、11 ふるさと納税大感謝祭(神奈川) ・11/24、25 高知龍馬空港 ・11/30 都内にて販売	○新商品販売開始数 1件(山北みかんジュース) ※ふるさと納税限定注文  ○既存商品販売個数 山北みかんバター 1,252個 山北みかんかき氷 380個	*	山北みかんの収穫時期がこれからであり、これから生産が本格的に行われることから、各イベント等に出向き、推進・販売の強化を図る。	【H30年度内の取組】 山北みかんの収穫時期がこれからであり、これから生産が本格的に行われることから、各イベント等に出向き、推進・販売の強化を図る。 また、H31年度に向け、調整を図って行く。  【H31年度以降の取組予定】 H30年度の取組を活かし、更なる発展に努めていく。	
	◆農産物の安心安全志向への取組						
	1.地産地消推進協議会補助事業 ○学校給食への市内産野菜 (主要品目)の使用率 38%	・H30.12月より、年間を通して使用される人参の生産を実施する	○学校給食への市内産野菜(主要品目)の使用率 30%  ※H29年度9月末までの 実績/目標値(達成率) 28/37% (75.7%)	78.9%	長雨や台風の影響で、市内産野菜の生育が進まず、地消率が目標数値より低下している。	【H30年度内の取組】 秋、冬野菜の生育状態や、風雨災害等に影響されない価格設定など、安心、安全な農産物づくりに取り組んでいく。  【H31年度以降の取組予定】 高知県改良普及課等の関係機関と連携し、品質及び納品量の安定的な確保に取組み、昨今の気候に対応した栽培計画及び品種の選定、研究を行い、安心安全な農産物作りに取り組む。また、人参については、本格的な生産体制に入れるように支援を行っていく。	
	2.信頼される産地づくり支援事業 ○利用件数 123検体	順調に取り組んでいる。	○利用件数 126検体  ※H29年度9月末までの 実績/目標値(達成率) 147/147検体(100%)	102.4%	検査料、出荷量の変化がなく予定通りに推移している。	【H30年度内の取組】 引き続き支援事業を行い安全・安心な農産物づくりに取り組んでいく。  【H31年度以降の取組予定】 引き続き推進していく。	

平成30年度の実績 【農業分野】

	各年度末目標値 (新規就農者数)	実績値 (達成率)	評価 (年度末目標 / 時点の実績値)	H30年度末見込数 ※農業部会については 確定値	備考(新規就農者について)
30年度 9月末	12人	9人(注1) (74.2%)	B	9人(H30年度確定値)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Uターン者：5人 Iターン：4人</li> <li>■ 品目：生姜 ビーマン ニラ(ハウス) みかん(ハウス) トマト(ハウス)</li> </ul>
29年度 3月末 (12ヶ月実績)	12人	7人(注2) (58.3%)	C	◇見込根拠 高知県中央東農業振興セン ターへの問い合わせによる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Uターン者：4人 Iターン者：3人</li> <li>■ 品目：すいか みかん ビーマン ニラ 人参 ブロッコリー 生姜 オクラ スナップエンドウ</li> </ul>
29年度 9月末		7人(注2) (当時暫定値 58.3%)	*		■ 同上

■ 取組の総評 (※ 左の数値に対しての総評)  
(H30年度9月末までの取組とH31.3月末までの取組について)

【9月末までの取組について】  
目標値である「新規就農者数」は、毎年10月末から11月にかけて高知県中央東農業振興センターより公表されるが「前年度の新規就農者数」であり、H30年度の目標値である「新規就農者数12名」の目標に対し、新規就農者は9人であることから「B判定」とした。  
H30年度の就農相談は10件あったが、就農を安易に考えている方や、今後の予定を立てられていない方が多く、就農するまでには至らなかった。  
今後も就農に向けたイベントに関係機関と参加し、周知をしていくよう努め、H31年度の目標値である15人に繋げられるように各取組を進めていく。

【3月末までの取組について】  
各取組を前進させ整備などを行うとともに、東京や大阪で行われる農業人フェアや高知暮らしフェアなどの新規就農に向けたイベント等に参加し、周知に努める。  
また、土佐香美農業協同組合の広報にも掲載をお願いし、周知の強化に努める。

※ 目標値である「新規就農者数」は、毎年10月末から11月にかけて高知県中央東農業振興センターより公表される「前年度の新規就農者数」  
よって、公表された前年度実績数が実績値となるため、H30年度の実績は9人で確定。(注1)はH29年度の新規就農者数実績、(注2)はH28年度の実績を記載。

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括【C】		今後の取組 (対策、改善について)【A】
	取組に対するH30年度の 目標値【P】		H30年度実績値 (9月末実績)	指数及び目標値に 対するH30.9月末 時点の達成率	原因及び課題(分析)	
中山間	◆農地の保全と活用の促進					
	1.中山間地域等直接支払事業	順調に取り組んでいる。	○組織数 11組織	100.0%	協定数は増えていないが、対象農地面積を増加させることが出来た。	【H30年度内の取組】 適正な維持管理を行ってもらうよう、指導・助言を行う。  【H31年度以降の取組予定】 4期対策 5年目の最終年度となるため、取組の維持に向けた説明会を開催していく。
	○組織数 11組織		※H29年度9月末までの 実績/目標値(達成率) 11 / 11 組織 (100%)			
	2.多面的機能支払事業	順調に取り組んでいる。 ・11/2 H31年度に向けて県と協議 ・市内の活動組織を集めて交流会を1月から2月 にかけて開催予定。	○組織数 10組織	*	H30年度で活動期間(5年間)を終える組織が7組織ある。 H31年度以降も活動を継続できるように助言が必要。	【H30年度内の取組】 今年度で活動を辞めようとしている組織に対する助言を実施。  【H31年度以降の取組予定】 各広報紙、ケーブルテレビなどで制度の周知を図る。また、各 地域の農業委員と調整し、事業が実施できそうな地区に対し て、説明に向く取組等を行い、新組織の立ち上げに繋げる。
	○組織数 10組織		※H29年度9月末までの 実績/目標値(達成率) 10 / 10 組織 (100%)			
	◆有害鳥獣被害対策					
1.鳥獣被害対策実施隊	・猟期：毎年11/15～翌2/15	○捕獲数 141頭羽 ・イノシシ 98頭 ・シカ 41頭 ・カラス・カワウ他 2羽	*	イノシシ、シカについては目標捕獲数に達していないが、これか ら猟期となることから、概ね予定どおりに捕獲できている。 カラス等鳥類については、駆除を行う者が少ないため、捕獲 数が少ない。 原因としては、鳥類は小さく、狙うことが困難なことや他市 町村と比較し、金額に差があり、対象となり得ないことがあげ られる。	【H30年度内の取組】 被害対策協議会等、各地区の狩猟代表者が集まる場におい て、鳥類駆除への協力を要望し、捕獲数増加・目標値達成を目 指していく。  【H31年度以降の取組予定】 引き続き被害対策協議会などの各地区狩猟代表者が集まる 場において、鳥類駆除の協力を要望していく。	
○捕獲数 500頭羽 ・イノシシ 220頭 ・シカ 150頭 ・カラス・カワウ 他						
2.有害鳥獣被害防止事業	窓口案内、広報等で周知を図ってきた。	○防止柵延長 7,224m	*	土佐香美農業協同組合による案内等、各関係機関の協力で、 農家等多数の住民が本事業を活用し、鳥獣被害防止に貢献で きている。	【H30年度内の取組】 今後も、窓口等での案内や広報掲載等で本事業の周知を図 かり、事業を進めていく。  【H31年度以降の取組予定】 引き続き、窓口案内や広報を活用した取組を行い周知を図 る。	
○防止柵延長 10,000m		※H29年度9月末までの 実績/目標値(達成率) 8,504 / 10,000m (85.0%)				



平成30年度の実績【林業分野】

	各年度末目標値 (森林境界明確化面積)	実績値 (達成率)	評価 (年度末目標 / 時点の実績値)	H30年度末見込数	備考
30年度 9月末	150ha	0ha (暫定値 0%)	C	50.61ha(見込み)	■ H30年度予定面積
29年度 3月末 (12ヶ月実績)	150ha	0ha (0%)	C	◇見込根拠 香我美町撫川地区で予定している 数字を記載。	-
29年度 9月末		0ha (当時暫定値 0%)	-		-

■ 取組の総評 (※ 左の数値に対しての総評)  
(H30年度9月末までの取組とH31. 3月末までの取組について)

<p><b>【9月末までの取組について】</b> 平成30年9月末現在において、まだ事業を実施していないため、全体の評価をC評価とした。 平成28、29年度は森林境界明確化は未実施であったが、今年度は香我美町撫川地区で50.61haを実施予定である。</p> <p><b>【3月末までの取組について】</b> H30年度の実施区域において、現在、香美森林組合が所有者を特定できなかった森林において、税務収納課の情報を内部利用し、納税管理人を特定し、市から事業への協力依頼文書を送付する。今後も随時、所有者不明の森林の特定に協力していく。</p>
--

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括【C】		今後の取組 (対策、改善について)【A】
	取組に対するH30年度の 目標値【P】		H30年度実績値 (9月末実績)	指数及び目標値に 対するH30.9月末 時点 の達成率	原因及び課題(分析)	
基盤整備	◆林業の振興	1. 林道道路側溝整備事業 ①畑山・仲木屋線擁壁復旧工事 L=5.0m A=16.5㎡ ②城山・羽尾線側溝清掃事業 L=3,000m (安全性の高いものから優先的に) ③城山・羽尾線舗装工事 A=400㎡ ④水源の森保育間伐事業 物部地区香南市有林	①完了 L=5.0m A=16.5m2 ②中止 (災害復旧事業を優先) ③中止 (災害復旧事業を優先) ④実施予定 (現在、事業計画の作成中) 間伐は11月より開始予定	*	豪雨等の自然災害により、各林道施設の被災、孤立集落の解消等を行うため、H30年度に予定していた工事を見直し、緊急性の高い工事を優先して行うことになったため、城山・羽尾線側溝清掃業務及び舗装工事は再協議となる。	【H30年度内の取組】 被災した各林道施設の復旧を迅速に行い、H31年度以降に予定していた工事を実施出来るように対応していく。 【H31年度以降の取組予定】 H30年度の検討を基に対応していく。
	◆林業の振興					
森林資源保全	◆林業の振興	2. 森林整備地域活動支援事業 ①森林所有者境界明確化 50ha (夜須町沢谷) ②条件整備(作業道の改良) 38ha (夜須町沢谷)	①森林所有者境界明確化 (香我美町撫川) 10月より実施予定(50.61ha) ②条件整備(作業道の改良) 38ha(夜須町沢谷) ⇒豪雨災害の影響により、対象地区の変更に伴い中止。 (森林境界明確化を行うための条件整備であるため。)	*	豪雨等の自然災害により、予定されていた森林所有者境界明確化対象地を「香我美町撫川地区」に変更。これに伴い、当初予定されていた「条件整備」は取り止め。 【課題】 ・森林境界明確化において、森林所有者の特定が困難。 ・事業費に充てている「森林整備地域活動支援交付金」の交付単価が10年ほど変化がなく、人件費の増加等の赤字の発生がしている。	【H30年度内の取組】 地権者が明確な箇所は、事業を理解してもらうよう説明を行い、同意者を増やしていく。香美森林組合と「所有者不明の森林の一覧表」を共有し、森林法第191条の2を根拠に、税務課の情報を内部利用し、市から現在の所有者に案内文を送付し、所有者の特定に協力する。 【H31年度以降の取組予定】 森林境界明確化の事業費について、今後、「森林環境税」を充てることを検討しており、H31年度は、香美市、南国市、香美森林組合、中央東林業事務所等の関係機関と協議しながら、導入に向けて準備をしていく。
	◆林業の振興					

平成30年度の実績【林業分野】

	各年度末目標値 (森林境界明確化面積)	実績値 (達成率)	評価 (年度末目標 / 時点の実績値)	H30年度末見込数	備考
30年度 9月末	150ha	0ha (暫定値 0%)	C	50.61ha(見込み)	■ H30年度予定面積
29年度 3月末 (12ヶ月実績)	150ha	0ha (0%)	C	◇見込根拠 香我美町撫川地区で予定している 数字を記載。	-
29年度 9月末		0ha (当時暫定値 0%)	-		-

■ 取組の総評 (※ 左の数値に対しての総評)  
(H30年度9月末までの取組とH31. 3月末までの取組について)

**【9月末までの取組について】**  
平成30年9月末現在において、まだ事業を実施していないため、全体の評価をC評価とした。  
平成28、29年度は森林境界明確化は未実施であったが、今年度は香我美町撫川地区で50.61haを実施予定である。

**【3月末までの取組について】**  
H30年度の実施区域において、現在、香美森林組合が所有者を特定できなかった森林において、税務収納課の情報を内部利用し、納税管理人を特定し、市から事業への協力依頼文書を送付する。今後も随時、所有者不明の森林の特定に協力していく。

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括【C】		今後の取組 (対策、改善について)【A】
	取組に対するH30年度の 目標値【P】		H30年度実績値 (9月末実績)	指数及び目標値に 対するH30.9月末 時点 の達成率	原因及び課題(分析)	
森林資源保全	3. 森林・山村多面的機能発揮対策事業 ○林業事業者への周知	香南市内の林業事業者に対して、事業の周知を行う。	○H31年度に向けて推進を図っている。	*	・現在、補助事業者が1組織である。(市外に拠点を置く活動組織であり、香南市内の森林で事業を実施。) ・香南市内における周知が不十分である。	<b>【H30年度内の取組】</b> 香南市内の林業事業者の中で、交付金が活用できると見込まれる事業者に対して周知していく。 <b>【31年度以降の取組予定】</b> 交付金の活用に向けて、事業者と高知県森と緑の会と連携しながら、実施体制を整備していく。
	4. 林地台帳整備事業 ○本事業の取組に向けた準備・整備(情報の追加・更新等)	林地台帳上の森林所有者情報の追加・更新する方法を県と協議中である。 ・8/9 税務課の情報を林地台帳に活用できないか高知県森づくり推進課、香南市税務収納課、農林課で協議を実施。 ⇒データのファイル形式の問題により一時断念。	○森林所有者情報の追加・更新など整備中。	*	H30. 4月から9月末までの閲覧・情報提供の申請件数は1件と少ない。 <b>【課題】</b> ・森林所有者や境界の情報の整備が不十分であるため、情報の追加・更新が必要である。 ・事業の周知が不十分である。	<b>【H30年度内の取組】</b> 県の説明会等に参加し、情報を得ながら、円滑な運用ができるように整備を実施する。 <b>【H31年度以降の取組予定】</b> 市広報に掲載する等、事業の周知をして利用者を増やしていく。(市広報への掲載などを想定。)
	5. 水源の森整備事業 ○H30年度は当初より要望無かったことから、H31年度に向けて推進を図る。	11/4 災害の影響で、緊急間伐総合支援事業で実施する予定だった搬出間伐の作業地の変更に伴い、水源の森整備事業費補助金を活用することになった。	○H31年度に向けて推進を図っている。	*	H30年度は、間伐の作業箇所が水源の森整備事業費補助金の対象外であったため、当初より未実施予定であった。	<b>【H30年度内の取組】</b> 事業主体である香美森林組合と協議し、森林所有者の方にも事業を知っていただくように周知方法を検討し、活用していただく取組に繋げていく。 <b>【H31年度以降の取組予定】</b> 引き続き森林所有者に対して周知し、事業の活用につなげていく。(市広報掲載、森林所有者への案内文書の送付などを想定。)
	6. 森林整備推進事業 (高性能林業機械導入) ①8tベース・グラブ付トラック 1台 ②プロセッサ1台	①については、国費不採択。 ②についてはH31.3月に導入予定。	① 導入を来年度以降に延期 ② 導入予定	*	8tベース・グラブ付トラックは、国費不採択のため、導入延期となった。 H31年度以降、導入する機械の優先順位も考慮する必要があるため、導入時期は未定。	<b>【H30年度内の取組】</b> 導入する機械の優先順位を再検討し、H31年度以降の申請へと繋げていく。
木質バイオマス	◆林業の振興					
	1. 森林の活用 ○農業ハウス用ペレットボイラー数2基の運用 【H31年度3月末までに用意する数】 ※H27・2基導入済	問題なく利用が実施されている。	○農業ハウス用ペレットボイラー数 2基の運用を実施済	*	問題なく利用が実施されているが、今後耐久年数等の問題もあり、利用者と協議が必要。 また、バイオマスボイラーを活用した農業の活用例などの話があり、今後、安定して高品質なペレットが供給できるか等の問題がある。	<b>【H30年度内の取組】</b> 情報収集等を図り、農業部会との連携等も視野に取り組んでいく。

平成30年度の実績【水産業分野】

■ 取組の総評 (※ 左の数値に対しての総評)  
(H30年度9月末までの取組とH31.3月末までの取組について)

	各年度末目標値 (沿岸漁業総生産量)	実績値 (達成率)	評価 (年度末目標 / 時点の実績値)	H30年度末見込数	備考
30年度 9月末	1,200 t	523 t (暫定値 43.6%) 【漁獲高 138,523千円】	C	950t(見込み) 【漁獲高 280,931千円(見込み)】	<ul style="list-style-type: none"> <li>沿岸漁業総生産量 523tの内訳 (前年比+116t) (手結 408 / 赤岡 69 / 吉川 46)</li> <li>漁獲高 138,523千円の内訳 (手結 70,807 / 赤岡 42,641 / 吉川 25,075)</li> </ul>
29年度 3月末 (12ヶ月実績)	1,200 t	839 t (69.9%) 【漁獲高 292,760千円】	C	◇見込根拠 9月末実績+H25~29の5年間のうち、各月毎の最大値・最小値を削除後の3年平均値 ・生産量 523 + 427(t) ・漁獲高 138,523 + 142,408(千円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>沿岸漁業総生産量 839tの内訳 (手結 337 / 赤岡 316 / 吉川 186)</li> <li>漁獲高 292,760千円の内訳 (手結 71,200 / 赤岡 141,820 / 吉川 79,740)</li> </ul>
29年度 9月末		407 t (当時暫定値 33.9%) 【漁獲高 93,361千円】	-		<ul style="list-style-type: none"> <li>沿岸漁業総生産量 407tの内訳 (手結 261 / 赤岡 91 / 吉川 55)</li> <li>漁獲高 93,361千円の内訳 (手結 51,236 / 赤岡 27,452 / 吉川 14,673)</li> </ul>

【9月末までの取組について】  
沿岸漁業総生産量1,200tに対して9月末実績値が523t(43.6%)であることから、評価はCとした。  
ただし、沿岸漁業総漁獲高は、238,000千円(H27~H29平均値)に対し138,523千円(58.2%)であったが、9月末時点生産量は前年比128.5%と増加、漁獲高前年比148.4%となっている。  
主な要因は、シイラが年度当初は低調であったが、8月・9月が好漁で過去5年において月当たり最高水揚げとなったことに加え、イワシシラスも生産量はH29年度より少ないが、品質の良さと他県の生産量が少なかったことから、漁獲高は前年比160.8%と上昇している。

【3月末までの取組について】  
今後の生産量については、水産業特有の天候等による好不漁の影響があり、直接生産量を上げる取組はないのが現状である。  
しかし、県漁協赤岡支所において、荷揚施設の増設・浮桟橋の設置を実施しており、鮮度が命のイワシシラスの水揚げの迅速化、漁業者の労力の軽減による生産性の向上、また、県漁協手結支所においては製氷機更新を行い安定した製氷体制を維持し、漁業者の鮮度保持及び荷捌業務の維持を図っている。  
以上の取組により、間接的ではあるが、生産性の向上・維持により漁業活動の円滑化を図り、生産量確保に努めていく。新規漁業就業者の確保についても、相談窓口が一元化され、H30.10月より県漁業振興課に相談窓口が設置された。今後、市も構成員として漁業就業希望者を総合的に支援する新たな組織の検討・協議への参加を予定しており、新規漁業就業者を確保し、生産量確保に向けて努めていく。

注1) 水産業分野における目標値は沿岸漁業総生産量であり、【 】の漁獲高は参考数字として記載。

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括【C】		今後の取組 (対策、改善について)【A】
	取組に対するH30年度の 目標値【P】		H30年度実績値 (9月末実績)	指数及び目標値に 対するH30.9月末 時点の達成率	原因及び課題(分析)	
改修整備	◆水産業の振興					
	1. 水産機能施設の整備 ○老朽化等に伴う各種漁業用施設の 改修・整備件数 10件 (H26からの累計)	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤岡支所 荷揚施設(11月末完成予定)</li> <li>手結支所 製氷機等更新(交付申請中)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○老朽化等に伴う各種漁業 用施設の改修・整備件数 24件 (H26からの累計) 2件</li> <li>・赤岡支所 荷揚施設(11月末完成予定)</li> <li>・手結支所 製氷機等更新 (交付申請中)</li> </ul>	*	<p>目標値はH26年度からH30年度までの累計件数で、あくまでも老朽化による改修・整備の予測数値である。実際は平成29年度時点までの累計は24件で、すでに目標値は達成しているが、要改修・整備等の施設が増加しているのが現状である。</p>	<p>【H30年度内の取組】 各支所単位で支所長・地区代表へのヒアリングを通じて、設備改修・整備を継続して実施していく。</p> <p>【H31年度以降の取組予定】 今後は支所・市場の廃統合も議論されていく予定であり、その動向も踏まえ、対応を検討していく予定。</p>
	2. 漁港施設の整備	<p>【H29年度末】 (完成施設 4.5 / 計画施設18 = 25%)</p> <p>【H30年度末予定】 (完成施設 5.5 / 計画施設18 = 31%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>吉川漁港 -1.5m物揚場(北) 0.5施設</li> <li>船揚場(4) 0.5施設</li> <li>水産物供給基盤機能保全工事の実施。 吉川漁港 -1.5m物揚場(北) (1月中旬完成予定)</li> <li>船揚場(4)(1月上旬完成予定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○改修整備率 25% (水産物供給基盤機能保全事業)</li> <li>※吉川漁港 -1.5m物揚場(北) (1月中旬完成予定)</li> <li>※船揚場(4) (1月上旬完成予定)</li> </ul>	*	<p>目標値設定時点では37%としていたが、国補助事業であり、予算配分により変動があるため、H30年度末での整備率は31%となる見込み。</p>	<p>【H30年度内の取組】 ・市管理漁港の定期点検による変状箇所の確認。</p> <p>【H31年度以降の取組予定】 ・機能保全計画に沿った保全工事の実施。 ・県営事業(港湾・漁港・海岸)への要望活動を継続して実施予定。</p>

新

平成30年度の実績【水産業分野】

	各年度末目標値 (沿岸漁業総生産量)	実績値 (達成率)	評価 (年度末目標 /時点の実績値)	H30年度末見込数	備考
30年度 9月末	1,200 t	523 t (暫定値 43.6%) 【漁獲高 138,523千円】	C	950t(見込み) 【漁獲高 280,931千円(見込み)】	<ul style="list-style-type: none"> <li>沿岸漁業総生産量 523tの内訳 (前年比+116t) (手結 408 / 赤岡 69 / 吉川 46)</li> <li>漁獲高 138,523千円の内訳 (手結 70,807 / 赤岡 42,641 / 吉川 25,075)</li> </ul>
29年度 3月末 (12ヶ月実績)	1,200 t	839 t (69.9%) 【漁獲高 292,760千円】	C	◇見込根拠 9月末実績+H25~29の5年間のうち、各月毎の最大値・最小値を削除後の3年平均値 ・生産量 523 + 427(t) ・漁獲高 138,523 + 142,408(千円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>沿岸漁業総生産量 839tの内訳 (手結 337 / 赤岡 316 / 吉川 186)</li> <li>漁獲高 292,760千円の内訳 (手結 71,200 / 赤岡 141,820 / 吉川 79,740)</li> </ul>
29年度 9月末		407 t (当時暫定値 33.9%) 【漁獲高 93,361千円】	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>沿岸漁業総生産量 407tの内訳 (手結 261 / 赤岡 91 / 吉川 55)</li> <li>漁獲高 93,361千円の内訳 (手結 51,236 / 赤岡 27,452 / 吉川 14,673)</li> </ul>	

注1) 水産業分野における目標値は沿岸漁業総生産量であり、【 】の漁獲高は参考数字として記載。

■ 取組の総評 (※ 左の数値に対しての総評)  
(H30年度9月末までの取組とH31. 3月末までの取組について)

**【9月末までの取組について】**  
沿岸漁業総生産量1,200tに対して9月末実績値が523t(43.6%)であることから、評価はCとした。ただし、沿岸漁業総漁獲高は、238,000千円(H27~H29平均値)に対し138,523千円(58.2%)であったが、9月末時点生産量は前年比128.5%と増加、漁獲高前年比148.4%となっている。主な要因は、シイラが年度当初は低調であったが、8月・9月が好漁で過去5年において月当たり最高水揚げとなったことに加え、イワシシラスも生産量はH29年度より少ないが、品質の良さと他県の生産量が少なかったことから、漁獲高は前年比160.8%と上昇している。

**【3月末までの取組について】**  
今後の生産量については、水産業特有の天候等による好不漁の影響があり、直接生産量を上げる取組はないのが現状である。しかし、県漁協赤岡支所において、荷揚施設の増設・浮棧橋の設置を実施しており、鮮度が命のイワシシラスの水揚げの迅速化、漁業者の労力の軽減による生産性の向上、また、県漁協手結支所においては製氷機更新を行い安定した製氷体制を維持し、漁業者の鮮度保持及び荷捌業務の維持を図っている。以上の取組により、間接的ではあるが、生産性の向上・維持により漁業活動の円滑化を図り、生産量確保に努めていく。新規漁業就業者の確保についても、相談窓口が一元化され、H30.10月より県漁業振興課に相談窓口が設置された。今後、市も構成員として漁業就業希望者を総合的に支援する新たな組織の検討・協議への参加を予定しており、新規漁業就業者を確保し、生産量確保に向けて努めていく。

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括【C】		今後の取組 (対策、改善について)【A】
	取組に対するH30年度の 目標値【P】		H30年度実績値 (9月末実績)	指数及び目標値に 対するH30.9月末 時点の達成率	原因及び課題(分析)	
経営基盤強化	◆水産業の振興					
	1. 新規漁業就業者の確保	問い合わせなどがあった場合に対応を実施。 ※10/15 高知県漁業支援センター運営開始	○新規漁業就業者 0名 ※漁業体験研修 (短期研修) 受入数 1名(養殖業)  ※H29年度9月末までの 実績/目標値(達成率) 0/1人(0%)	0%	法人経営体が短期研修を受け入れたが、就業までには至っていない。 新規就業希望者の情報は高知県漁協漁業就業支援アドバイザーからの情報のみ。 (希望者は基本アドバイザーへ問い合わせ)  受入機関からは受入れは出来るが、住む場所の確保が必要との意見がある。  香南市内の主要漁業形態(シラス漁 / シイラ漁)は、1人での漁業就業が難しい。	<p><b>【H30年度内の取組】</b> 新規漁業就業に関する相談窓口を一元化し、県漁業振興課に相談窓口が設置される。 今後、市も構成員として漁業就業希望者を総合的に支援する新たな組織の検討・協議への参加を予定しており、H31年度以降の支援体制についての見直しを行う。</p> <p><b>【H31年度以降の取組予定】</b> H31年度以降の新たな組織が決定していないが、協議内容を踏まえて、県と連携し支援策を実施していく。</p>
	2. 漁場の保全	・モニタリング・ウニ駆除1回 ・掃海活動については、11・12月で調整中。	○海藻類育成被度 年度末に実施予定。	*	豪雨及び相次ぐ台風の影響により、モニタリングとウニ駆除1回の実績となっている。	<p><b>【H30年度内の取組】</b> 水温の低下により活動できなくなることから、年度末にモニタリングを実施し、H31年度以降の活動に繋げていく。</p> <p><b>【H31年度以降の取組予定】</b> 掃海用の網を少しづつ整備し、出水時でも掃海できるようにしていくことを検討している。</p>

平成30年度の実績【水産業分野】

	各年度末目標値 (沿岸漁業総生産量)	実績値 (達成率)	評価 (年度末目標 /時点の実績値)	H30年度末見込数	備考
30年度 9月末	1,200 t	523 t (暫定値 43.6%) 【漁獲高 138,523千円】	C	950t(見込み) 【漁獲高 280,931千円(見込み)】	<ul style="list-style-type: none"> <li>沿岸漁業総生産量 523tの内訳 (前年比+116t) (手結 408 / 赤岡 69 / 吉川 46)</li> <li>漁獲高 138,523千円の内訳 (手結 70,807 / 赤岡 42,641 / 吉川 25,075)</li> </ul>
29年度 3月末 (12ヶ月実績)	1,200 t	839 t (69.9%) 【漁獲高 292,760千円】	C	◇見込根拠 9月末実績+H25~29の5年間のうち、各月毎の最大値・最小値を削除後の3年平均値	<ul style="list-style-type: none"> <li>沿岸漁業総生産量 839tの内訳 (手結 337 / 赤岡 316 / 吉川 186)</li> <li>漁獲高 292,760千円の内訳 (手結 71,200 / 赤岡 141,820 / 吉川 79,740)</li> </ul>
29年度 9月末		407 t (当時暫定値 33.9%) 【漁獲高 93,361千円】	-	・生産量 523 + 427(t) ・漁獲高 138,523 + 142,408(千円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>沿岸漁業総生産量 407tの内訳 (手結 261 / 赤岡 91 / 吉川 55)</li> <li>漁獲高 93,361千円の内訳 (手結 51,236 / 赤岡 27,452 / 吉川 14,673)</li> </ul>

注1) 水産業分野における目標値は沿岸漁業総生産量であり、【 】の漁獲高は参考数字として記載。

■ 取組の総評 (※ 左の数値に対しての総評)  
(H30年度9月末までの取組とH31. 3月末までの取組について)

**【9月末までの取組について】**  
沿岸漁業総生産量1,200tに対して9月末実績値が523t(43.6%)であることから、評価はCとした。ただし、沿岸漁業総漁獲高は、238,000千円(H27~H29平均値)に対し138,523千円(58.2%)であったが、9月末時点生産量は前年比128.5%と増加、漁獲高前年比148.4%となっている。主な要因は、シイラが年度当初は低調であったが、8月・9月が好漁で過去5年において月当たり最高水揚げとなったことに加え、イワシシラスも生産量はH29年度より少ないが、品質の良さと他県の生産量が少なかったことから、漁獲高は前年比160.8%と上昇している。

**【3月末までの取組について】**  
今後の生産量については、水産業特有の天候等による好不漁の影響があり、直接生産量を上げる取組はないのが現状である。しかし、県漁協赤岡支所において、荷揚施設の増設・浮棧橋の設置を実施しており、鮮度が命のイワシシラスの水揚げの迅速化、漁業者の労力の軽減による生産性の向上、また、県漁協手結支所においては製氷機更新を行い安定した製氷体制を維持し、漁業者の鮮度保持及び荷捌業務の維持を図っている。以上の取組により、間接的ではあるが、生産性の向上・維持により漁業活動の円滑化を図り、生産量確保に努めていく。新規漁業就業者の確保についても、相談窓口が一元化され、H30.10月より県漁業振興課に相談窓口が設置された。今後、市も構成員として漁業就業希望者を総合的に支援する新たな組織の検討・協議への参加を予定しており、新規漁業就業者を確保し、生産量確保に向けて努めていく。

戦略の柱	事業名 取組に対するH30年度の目標値【P】	具体的な取組【D】	目標値に対する実績(成果等)		総括【C】		今後の取組 (対策、改善について)【A】
			H30年度実績値 (9月末実績)	指数及び目標値に対するH30.9月末時点の達成率	原因及び課題(分析)		
経営基盤強化	3. 漁業者の所得向上 ①沿岸漁業総生産量 1,200t / 年 (H24~H26平均) ②沿岸漁業総漁獲高 238,000千円 (H27~H29平均) ③沿岸漁業設備投資促進事業費補助金の要望整理	③ 沿岸漁業設備投資促進事業費補助金 H31要望者、漁協、市で協議し、2件の要望を提出予定	① 沿岸漁業総生産量 523t/年 ② 沿岸漁業総漁獲高 138,523千円 ③ 沿岸漁業設備投資促進事業費補助金の要望整理 2件 提出予定  ※H29年度9月末までの実績/目標値(達成率) 407 / 1,200t (33.9%)	沿岸漁業総生産量 43.6%	シイラは年度当初は低調であったが、8月・9月が好漁で過去5年のうちで、月当たり最高水揚げとなっている。 【前年同比】 (H29 ⇒ H30) 手結 261t ⇒ 408t (156.3%)  イワシシラスの生産量はH29年度より少ない。 【前年同比】 (H29 ⇒ H30) 赤岡 91t ⇒ 69t (75.8%) 吉川 55t ⇒ 46t (83.6%)	<b>【H30年度内の取組】</b> シラス漁における所得向上対策検討に向け、給食納入希望調査の際に加工業者の現状について話を聞くことができた。今後は漁業関係者の現状について聞き取り現状についてまとめていく。  <b>【H31年度以降の取組予定】</b> ○沿岸漁業設備投資促進事業(エンジン導入) 要望のあった2件の採択状況にもよるが、エンジン導入に伴う燃費向上等の経費削減に対する支援を実施することにより、漁業者の所得向上を図る。  ○シラス漁における所得向上対策の検討 生産・加工・流通・販売の一連の流れの中で対策を考えていく必要があり、先進地事例を探し、視察することで、今後どのように進めていくか検討することも考えていく。	
生産・加工 流通・販売	◆水産業の振興 1. 水産加工品流通販売の推進 ○学校給食への加工品の納入回数 11回 ①シイラの学校給食への納入 ②香南市産業振興計画施設等整備事業【保冷車購入】(県漁協手結支所) ③シラス(かちりじゃこ)の学校給食への納入 (加工業者への意向調査及びサンプル品の評価) ④水産業の学習 ⑤釜揚げ体験・食育学習	②についてはH31.3月に導入予定。 ③意向調査実施(5業者中3業者意向有)	○学校給食への加工品の納入回数(シイラ) 12回  ※H29年度9月末までの実績/目標値(達成率) 14 / 11回 (127.3%)  ①手結支所販売額 41,650千円 (H29.9月時: 29,577千円) ②手結支所保冷車購入に向け実行中 ③かちりじゃこの学校給食納入への事前調査実施	給食納入回数 109.1%	学校給食へのシイラ納入回数は目標値を達成。手結支所加工販売額は前年比140.8%と順調に伸びている。また、保冷車購入事業も実施中であり、安定した加工体制を強化することができる見込み。  地元産かちりじゃこの学校給食納入については、加工業者へのアンケートを実施し、5業者中3業者が納入の意向を持っている。今後はサンプル品評価等、給食センターとの調整をしていく。	<b>【H30年度内の取組】</b> 導入する機械の優先順位を再検討し、H31年度以降の申請へと繋げていく。  地元産かちりじゃこの学校給食納入については、加工業者へのアンケートを実施し、5業者中3業者が納入の意向を持っている。今後はサンプル品評価等、給食センターとの調整をしていく。  海面漁業において部会で意見をいただき施策に繋がっているが、内水面漁業については議論されていない。今後は内水面漁業関係者を部会の委員として参加していただくことよう依頼していく。	

平成30年度の実績【商工業分野】

各年度末目標値 (製造品出荷額)	実績値 (達成率)	評価 (年度末目標 / 時点の実績値)	H30年度末見込数	備考
30年度 9月末	500億円以上	371億円 (注1) (暫定値 74.2%)	*	■ 実績値の公表が毎年2月であり、4月～9月の製造品出荷額を調べる事が出来ない。よって評価は「* (未評価)」とした。 また、見込値においても同等の理由で「*」とした。
29年度 3月末 (12ヶ月実績)	500億円以上	371億円 (注1) (74.2%)	B	
29年度 9月末		396億円 (注2) (当時暫定値 79.2%)	-	

※ 目標値である「製造品出荷額」は毎年2月に公表されるため、(注1)はH28年度、(注2)はH27年度の製造品出荷額を記載。

■ 取組の総評 (※ 左の数値に対しての総評)  
(H30年度9月末までの取組とH31.3月末までの取組について)

**【9月末までの取組について】**  
 商業分野では、課題となっていた「商業希望者に提供可能な空き店舗物件の収集」に向け、市内の不動産会社やすてきなまち・赤岡プロジェクトと連携する等、目標達成に向け対策を進めているが物件数は不足している。また、香南市の商業地が盛り上がりつつあるため必要不可欠である。「事業者の顔が見える商業地づくり」が課題となっている。  
 工業分野では、香南工業団地の完売、ルネサス高知工場が譲渡決定する等、目標が達成されつつある。

**【3月末までの取組について】**  
 商業分野では、旧中心商店街であるのいち駅周辺の商店を中心に聞き取りアンケートを実施し、商店街の課題を整理し、今後の施策の参考とする。

工業分野では、立地企業の雇用支援や川谷刈谷工場用地への分譲に努めるとともに、新たな取組としてIT企業の誘致を行い、特に若い世代にニーズの高い事務職種の雇用を確保するため、条例の見直しや補助制度を制定し、空き店舗を有効活用した商店街の活性化や、移住・UJターン促進にも繋げていく考えである。

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括【C】		今後の取組 (対策、改善について)【A】	
	取組に対するH30年度の 目標値【P】		H30年度実績値 (9月末実績)	指数及び目標値に 対するH30.9月末 時点の達成率	原因及び課題(分析)		
ものづくりの 基盤整備	◆企業誘致の促進						
	1. 香南工業団地整備事業 ○残り1区画(A区画)の早期完売を目指す	・団地内及び周辺環境整備や適切な維持管理。 ・1号調整池、2号貯水池の浚渫 ・企業案内看板の設置 ・工場竣工及び一部事業開始予定(31.3月開始予定)	○分譲完了(A区画) みずまる加工株式会社	100.0%	高知県企業立地課と連携し、分譲交渉を行い、A区画に企業誘致することができた。	【H30年度内の取組】 ・団地内及び周辺環境整備や適切な維持管理。	
	2. 香南工業団地企業立地促進事業 ○立地企業への雇用促進及び産業の活性化を図る。 ・上半期採用予定人数 6~8人 ・下半期採用予定人数 20人(予定) (うち、半数採用を香南市内の方)	・みずまる加工(株)会社説明会、面接会の開催(9/23、24) ・市HP及び市広報紙への掲載、香南CATVへのテロップ放送を実施 ・2次募集を実施(H31.2を予定)	○上半期採用 6名内定 (うち、香南市在住3名) ※2日間で23名の参加	*	立地企業と県、市、ハローワークが連携し、「説明会」及び「面接会」を開催し、新工場に係る新規採用者を雇用することができた。	【H30年度内の取組】 2時募集に向けて取り組んでいく。	
3. ルネサス高知工場及び川谷刈谷工場用地 <ルネサス高知工場> ○ルネサス従業員の雇用確保及び 事業承継先の確保  <川谷刈谷工場用地> ○川谷刈谷工場用地への企業業誘致	<ルネサス高知工場> ・ルネサス社(東京本社)との協議1回(4/6) ・ルネサス高知工場雇用対策連絡会議への出席(5/11、6/1) ・企業誘致訪問(6/13) ・ルネサス高知工場の譲渡契約締結(9/28) ※ 譲渡先:丸三産業(株) ・丸三産業(株)との企業進出協定締結(10/4) ・企業合同説明会の開催(10/16) ・会社説明会、面接会の開催(11/17~18) <川谷刈谷工場用地> ・川谷刈谷工場用地単独での活用を視野に再公募開始(4/23) ・川谷刈谷工場用地の草刈を実施(高知県分 7月上旬実施)	<ルネサス高知工場> ○譲渡決定  <川谷刈谷工場用地> ○未分譲	*	<ルネサス高知工場> 県企業立地課と連携して交渉を行い、ルネサス高知工場へ企業誘致することができた。  <川谷刈谷工場用地> 川谷刈谷工場用地の分譲については、随時受付を行っており、応募に応じて外部有識者を交えた立地企業選定委員会にて事業計画や県内への波及効果などの審査を行うこととしている。尚、上半期中に公募があり、選定委員会が開催されたが分譲には至らなかった。	【H30年度内の取組】 <ルネサス高知工場> ルネサス高知工場の元従業員や、協力企業の方で、県内の再就職先をが定まっていなかった方に対して高知労働局を中心に情報を提供していく。  <川谷刈谷工場用地> 川谷刈谷工場用地への給水を目的として整備した香南工業用水を有効活用する観点から、引き続き、用水型企業の立地を目指すとともに、併せて、より幅広い活用方法も視野に入れて検討を深めていく。		

平成30年度の実績【商工業分野】

各年度末目標値 (製造品出荷額)	実績値 (達成率)	評価 (年度末目標 / 時点の実績値)	H30年度末見込数	備考
30年度 9月末	500億円以上	371億円 (注1) (暫定値 74.2%)	*	■ 実績値の公表が毎年2月であり、4月～9月の製造品出荷額を調べる事が出来ない。よって評価は「* (未評価)」とした。 また、見込値においても同等の理由で「*」とした。
29年度 3月末 (12ヶ月実績)	500億円以上	371億円 (注1) (74.2%)	B	
29年度 9月末		396億円 (注2) (当時暫定値 79.2%)	-	

※ 目標値である「製造品出荷額」は毎年2月に公表されるため、(注1)はH28年度、(注2)はH27年度の製造品出荷額を記載。

■ 取組の総評 (※ 左の数値に対しての総評)  
(H30年度9月末までの取組とH31.3月末までの取組について)

**【9月末までの取組について】**  
 商業分野では、課題となっていた「商業希望者に提供可能な空き店舗物件の収集」に向け、市内の不動産会社やすてきなまち・赤岡プロジェクトと連携する等、目標達成に向け対策を進めているが物件数は不足している。また、香南市の商業地が盛り上がりつつあるため必要不可欠である。「事業者の顔が見える商業地づくり」が課題となっている。  
 工業分野では、香南工業団地の完売、ルネサス高知工場が譲渡決定する等、目標が達成されつつある。

**【3月末までの取組について】**  
 商業分野では、旧中心商店街であるのいち駅周辺の商店を中心に聞き取りアンケートを実施し、商店街の課題を整理し、今後の施策の参考とする。

工業分野では、立地企業の雇用支援や川谷刈谷工場用地への分譲に努めるとともに、新たな取組としてIT企業の誘致を行い、特に若い世代にニーズの高い事務職種の雇用を確保するため、条例の見直しや補助制度を制定し、空き店舗を有効活用した商店街の活性化や、移住・UJターン促進にも繋げていく考えである。

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括【C】		今後の取組 (対策、改善について)【A】
	取組に対するH30年度の 目標値【P】		H30年度実績値 (9月末実績)	指数及び目標値に 対するH30.9月末 時点の達成率	原因及び課題(分析)	
ものづくりの 基盤整備	4. 企業立地優遇制度の策定 ○条例制定 ○奨励措置の新設	・情報通信業、サービス業に係る奨励措置の新設 ・宮崎県日南市への先進地視察(9/26～9/27)	○H31年度の施行に向け調整中	*	工業団地等の整備を行い雇用の促進及び生産性の向上を図ってきたが、今後はIT企業等の誘致を行うことで特に若い世代にニーズの高い事務職種の雇用を確保する必要がある。	【H30年度内の取組】 ・現行の企業誘致条例の見直しを行い、新たな企業立地促進条例の策定を検討する。 また、情報通信・サービス業等が立地しやすい補助制度を制定する。 ・首都圏IT企業に繋がりのある企業と連携し、企業誘致を図る。 ・企業誘致に繋がる空き店舗やシェアオフィスの確保。
ものづくり <b>拡</b>	◆既存企業の育成・支援					
	1. 香南市香我美町企業立地交流会 ○懇談会の開催 年1回 ・H29年度比で参加者数の増加 (H29実績:8企業13名)	・11.21に開催に向けて調整を図る。 ・懇談会の開催(1回予定) ・会員企業への企業訪問	○11月21日の開催に向けて調整中。	*	会員数の減少が課題とされる。	【H30年度内の取組】 新たな香南市立地企業に入会を勧めるとともに、開催に向けて懇談会の内容を充実させ、参加者数の増加を図る。 ・交流会とあわせて講演「働き方改革セミナー」を開催予定。
	2. 香南市ものづくり会 ○懇談会の開催 年1回 ・H28年度比で参加者数の増加 (H28実績 :6企業 6名) (H29実績 :未開催)	・H29年度は未実施だったが、H30年度はH31年1月～2月に開催を予定。	○開催に向けて調整中。	*	会員数の減少が課題とされる。	【H30年度内の取組】 会員の企業訪問を行い、雇用や経営状況、課題等を把握し、支援策に反映させる。
	3. 香南市産業人材育成事業 ○利用件数 5件 ※補助率1/2 上限200千円×5事業所	・補助金交付要綱の一部改正し、事業の拡充を図る。 【改正内容：公的団体以外の法人が実施する研修等を補助対象事業に追加】 ・市ホームページへの掲載 ・企業訪問や懇談会での事業紹介	○利用実績 2件 (問い合わせ4件)  ※H29年度9月末までの実績/目標値(達成率) 1 / 5 件 (20%)	40.0%	補助対象事業を拡充したことで利用の増加に繋がっている。	【H30年度内の取組】 香我美町立地企業交流会や香南市ものづくり会、企業訪問等で事業紹介を行う。  【H31年度以降の取組予定】 企業訪問等において企業のニーズにあった研修プランを具体的に提示し、利用の促進を図る。

平成30年度の取組実績【商工業分野】

各年度末目標値 (製造品出荷額)	実績値 (達成率)	評価 (年度末目標 / 時点の実績値)	H30年度末見込数	備考
30年度 9月末	500億円以上	371億円 (注1) (暫定値 74.2%)	*	■ 実績値の公表が毎年2月であり、4月～9月の製造品出荷額を調べる事が出来ない。よって評価は「* (未評価)」とした。 また、見込値においても同等の理由で「*」とした。
29年度 3月末 (12ヶ月実績)	500億円以上	371億円 (注1) (74.2%)	B	
29年度 9月末		396億円 (注2) (当時暫定値 79.2%)	-	

※ 目標値である「製造品出荷額」は毎年2月に公表されるため、(注1)はH28年度、(注2)はH27年度の製造品出荷額を記載。

■ 取組の総評 (※ 左の数値に対しての総評)  
(H30年度9月末までの取組とH31.3月末までの取組について)

**【9月末までの取組について】**  
 商業分野では、課題となっていた「商業希望者に提供可能な空き店舗物件の収集」に向け、市内の不動産会社やすてきなまち・赤岡プロジェクトと連携する等、目標達成に向け対策を進めているが物件数は不足している。また、香南市の商業地が盛り上がりつつあるため必要不可欠である。「事業者の顔が見える商業地づくり」が課題となっている。  
 工業分野では、香南工業団地の完売、ルネサス高知工場が譲渡決定する等、目標が達成されつつある。

**【3月末までの取組について】**  
 商業分野では、旧中心商店街であるのいち駅周辺の商店を中心に聞き取りアンケートを実施し、商店街の課題を整理し、今後の施策の参考とする。

工業分野では、立地企業の雇用支援や川谷刈谷工場用地への分譲に努めるとともに、新たな取組としてIT企業の誘致を行い、特に若い世代にニーズの高い事務職種の雇用を確保するため、条例の見直しや補助制度を制定し、空き店舗を有効活用した商店街の活性化や、移住・UJターン促進にも繋げていく考えである。

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括【C】		今後の取組 (対策、改善について)【A】
	取組に対するH30年度の 目標値【P】		H30年度実績値 (9月末実績)	指数及び目標値に 対するH30.9月末 時点の達成率	原因及び課題(分析)	
ものづくり	4. 香南市未来人材育成奨学金返還助成事業 ○利用件数 10件 ※補助率1/2 ※6,428円(自宅通学生の借入平均月額 の1/2) × 12ヶ月 × 10人	・市ホームページへの掲載 ・企業訪問による事業紹介 ・日本学生支援機構等外部サイトへの事業紹介の掲載 ・県内3大学および工業高校(2校)への事業紹介	○利用実績 0件 (問い合わせ2件)  ※H29年度9月末までの 実績/目標値(達成率) 0 / 10件 (0%)	0%	対象業種を製造業に限定しているため、対象が少ない。	<b>【H30年度内の取組】</b> 補助金交付要綱を一部改正し、対象業種の拡充を図るとともに、市内在住要件の緩和など、利用件数の増加に繋がる事業の見直しを行う。  <b>【H31年度以降の取組予定】</b> 商工会や県内の学校と連携し、事業所や対象となる学生に対して周知を行い、利用の増加を図る。
	5. 香南市インターンシップ支援事業 ○利用件数 10件 ※宿泊費定額補助 ※ 2,500円×延日数40日×10事業所	・市ホームページへの掲載 ・企業訪問による事業紹介	○利用実績 0件  ※H29年度9月末までの 実績/目標値(達成率) 0 / 10件 (0%)	0%	現在、市内企業へのインターンシップは宿泊を要しないケースが多く、事業の利用に至っていない。	<b>【H31年度以降の取組予定】</b> 企業のニーズにあった補助事業ではないためH31年度より事業廃止予定。 ・平成31年度に向けて他分野と連携し、雇用確保に繋がる新規事業を検討する。
	6. 中小企業者の生産性向上支援事業 ○中小企業者の先端設備等導入 計画の認定件数 30件	・導入促進基本計画の策定(6/19) ・市税条例の一部改正(6/26) ※対象設備となる固定資産税率を3年間ゼロとする。 ・市ホームページへの掲載 ・商工会会員への事業紹介 ・企業訪問による事業紹介	○利用実績 8件	36.3%	生産性向上特別措置法の施行にともない、生産性向上に繋がる新規設備の取得を支援する。なお、一定の要件を満たす設備(償却資産)に係る固定資産税を3年間ゼロとすることで事業拡大、雇用創出、地域経済の活性化を目指す。	<b>【H30年度内の取組】</b> 香我美町立地企業交流会や香南市ものづくり会、企業訪問等で事業紹介を行う。また、H31年度に繋がるよう周知を図っていく。 <b>【H31年度以降の取組予定】</b> 引き続き推進し、結果に結びつけていけるよう周知を図る。
	7. 香南市緊急融資保証料補給金事業 ○7年満期分 20,000円 ○10年満期分 30,000円	・4月1日付けで基本保証料率の改正による交付要綱の一部改正を実施 ・4月1日付けで高知県信用保証協会と補給金交付契約書を締結 ・5月に第1回目の交付(5件4,582円) ・10月に第2回目の交付(5件11,560円)	○利用実績 10件 16,142円	*	信用保証協会付きの運転資金融資に対して、市が信用保証協会に保証料を補給する事業。 <b>【課題】</b> 資金繰りに対する融資が対象であるため、実績値が高いことがA評価にあたるのか整理が必要。	<b>【H30年度内の取組】</b> 引き続き、市内業者の健全な資金繰りを応援すべく取り組んでいく。また、目標値に対する評価の整理を行う。



平成30年度の実績【商工業分野】

各年度末目標値 (製造品出荷額)	実績値 (達成率)	評価 (年度末目標 / 時点の実績値)	H30年度末見込数	備考
30年度 9月末	500億円以上	371億円 (注1) (暫定値 74.2%)	*	■ 実績値の公表が毎年2月であり、4月～9月の製造品出荷額を調べることが出来ない。よって評価は「* (未評価)」とした。 また、見込値においても同等の理由で「*」とした。
29年度 3月末 (12ヶ月実績)	500億円以上	371億円 (注1) (74.2%)	B	
29年度 9月末		396億円 (注2) (当時暫定値 79.2%)	-	

※ 目標値である「製造品出荷額」は毎年2月に公表されるため、(注1)はH28年度、(注2)はH27年度の製造品出荷額を記載。

■ 取組の総評 (※ 左の数値に対しての総評)  
(H30年度9月末までの取組とH31.3月末までの取組について)

**【9月末までの取組について】**  
商業分野では、課題となっていた「商業希望者に提供可能な空き店舗物件の収集」に向け、市内の不動産会社やすてきなまち・赤岡プロジェクトと連携する等、目標達成に向け対策を進めているが物件数は不足している。また、香南市の商業地が盛り上がりつつあるため必要不可欠である。「事業者の顔が見える商業地づくり」が課題となっている。  
工業分野では、香南工業団地の完売、ルネサス高知工場が譲渡決定する等、目標が達成されつつある。

**【3月末までの取組について】**  
商業分野では、旧中心商店街であるのいち駅周辺の商店を中心に聞き取りアンケートを実施し、商店街の課題を整理し、今後の施策の参考とする。

工業分野では、立地企業の雇用支援や川谷刈谷工場用地への分譲に努めるとともに、新たな取組としてIT企業の誘致を行い、特に若い世代にニーズの高い事務職種の雇用を確保するため、条例の見直しや補助制度を制定し、空き店舗を有効活用した商店街の活性化や、移住・UJターン促進にも繋げていく考えである。

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括【C】		今後の取組 (対策、改善について)【A】
	取組に対するH30年度の 目標値【P】		H30年度実績値 (9月末実績)	指数及び目標値に 対するH30.9月末 時点の達成率	原因及び課題(分析)	
商業支援	◆既存企業の育成・支援					
	1. 魅力のある商業地・商店街づくり ○香南市街バルイベント 「香南カーニバル」開催 ・目標チケット販売数:500セット ※ 1セット(5枚綴り) 3,500円 ○事業者のニーズの把握のため、野市 駅周辺商店で聞き取りアンケートを行う。	【バル】 平成30年度香南バル実行委員会の開催 7回(6/19,7/5,7/26,8/17,8/29,9/13,10/12) ・産業振興計画推進事業費補助金の交付決定(6/28)  【聞き取りアンケート】 ・12月実施にむけ、アンケート内容を調整。	○香南市街バルイベント 「香南カーニバル」開催 (11/19-11/25) に向け進行中。  【参考】(10/31現在) ・参加店 45店 ・チケット販売数 56枚  ○アンケート作成に向けて調整中。	*	・魅力のある商業地・商店街づくりを推進するため、商工会が中心となりH30年度に初めてバルを開催する事となったが、参加店の集まりも悪く、周知の大切さを痛感している。  ・事業者の今後の取組に繋げるためのニーズを把握する活動が不足している。	【H30年度内の取組】 SNSや市内外でバルポスターやチラシの掲載依頼を行い、PRに努め、滞りなく実施に繋げる。 当初、事業者の機運を高めることを目的に、各自の商品等をテスト販売し、消費者から直接意見をいただく取組を検討していたが、事業者がどのような要望や不安を持っているかの把握が不足していたことから、その把握のためにまずは野市町の一部を対象にアンケートを実施する予定。  【H31年度以降の取組予定】 H30年参加店舗の実績と感想を含めた反省会の意見を基に、H31年度バルの磨上げを行う。 H31.10の消費税増税に向け、商工会と連携し、事業者への講習会等を開催する。
	2. 空き店舗等の活用 ○利用件数 2件 ※県：補助率1/2 上限1,000千円 市：補助率2/10 上限 400千円	・金融機関および不動産会社への事業説明訪問(7/25 5件訪問) ・市と商工会ホームページで空き店舗物件の情報量強化(12月予定) ・事業承継、空き店舗対策の調査研究にかかる委員会の開催(8/28、9/26、10/9) ・すてきなまち・赤岡プロジェクトと連携した空き店舗対策事業への取組(10/9) ・市、商工会、観光協会と連携した、事業承継状況調査(廃止) ⇒高知県事業承継ネットワーク事務局と商工会で連携を取り、60歳以上の経営者を対象に事業承継診断を実施。(目標:年間30件)※9月末現在 17件実施 ・商工会HPへの空き店舗紹介掲載数 10件にする。(H29年度掲載数:2件)	○利用実績 1件 (299千円) ※ 県補助金:748千円  (他、問い合わせ 1件)  ※H29年度9月末までの 実績/目標値(達成率) 0 / 2件 (0%)	50.0%	・市内金融機関、不動産業者を対象に事業説明を実施し、情報を共有するなどの取組を進めており、商工会HPにて「空き店舗マッチングサイト」の開設と登録物件数を1つ増加させる等、進捗がみられるが目標値である10件には至っていない。また、空き店舗を「貸したい」と考えている方々に本事業の内容を伝えられていないなどの周知課題があり物件登録数は不足している。	【H30年度内の取組】 12月末までにまだ回れていない商工会非会員の不動産業者等を回り、掲載件数に10件にむけた事業説明及び空き店舗情報の協力依頼を行う。 ・高知県が推進している「事業承継診断」の取組を進め、H31.3月末までに目標値である30件の診断を終える。  【H31年度以降の取組について】 「事業承継診断」の結果を取りまとめ、スムーズな事業承継の準備を促す。また、今後空き店舗化が懸念される事業者には、売却や譲渡等、事業者が望む状態までサポートを実施する体制を強化する。

平成30年度の実績【商工業分野】

	各年度末目標値 (製造品出荷額)	実績値 (達成率)	評価 (年度末目標 / 時点の実績値)	H30年度末見込数	備考
30年度 9月末	500億円以上	371億円 (注1) (暫定値 74.2%)	*	*	<p>■ 実績値の公表が毎年2月であり、4月～9月の製造品出荷額を調べる事が出来ない。よって評価は「* (未評価)」とした。 また、見込値においても同等の理由で「*」とした。</p>
29年度 3月末 (12ヶ月実績)	500億円以上	371億円 (注1) (74.2%)	B	-	
29年度 9月末		396億円 (注2) (当時暫定値 79.2%)	-		

※ 目標値である「製造品出荷額」は毎年2月に公表されるため、(注1)はH28年度、(注2)はH27年度の製造品出荷額を記載。

■ 取組の総評 (※ 左の数値に対しての総評)

(H30年度9月末までの取組とH31.3月末までの取組について)

<p><b>【9月末までの取組について】</b> 商業分野では、課題となっていた「商業希望者に提供可能な空き店舗物件の収集」に向け、市内の不動産会社やすてきなまち・赤岡プロジェクトと連携する等、目標達成に向け対策を進めているが物件数は不足している。また、香南市の商業地が盛り上がりつつあるため必要不可欠である、「事業者の顔が見える商業地づくり」が課題となっている。 工業分野では、香南工業団地の完売、ルネサス高知工場が譲渡決定する等、目標が達成されつつある。</p> <p><b>【3月末までの取組について】</b> 商業分野では、旧中心商店街であるのいち駅周辺の商店を中心に聞き取りアンケートを実施し、商店街の課題を整理し、今後の施策の参考とする。</p> <p>工業分野では、立地企業の雇用支援や川谷刈谷工場用地への分譲に努めるとともに、新たな取組としてIT企業の誘致を行い、特に若い世代にニーズの高い事務職種の雇用を確保するため、条例の見直しや補助制度を制定し、空き店舗を有効活用した商店街の活性化や、移住・UJターン促進にも繋げていく考えである。</p>
---

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括【C】		今後の取組 (対策、改善について)【A】
	取組に対するH30年度の 目標値【P】		H30年度実績値 (9月末実績)	指数及び目標値に 対するH30.9月末 時点の達成率	原因及び課題(分析)	
商業支援	3. 創業支援 ○ワンストップ窓口 (商工水産課と商工会)への 相談件数 32件	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業支援事業計画に則って、事業体制の強化を図るため、窓口サポートの質を統一するための共有フォーム及び手順書を作成(9/15)</li> <li>特定創業支援事業証明書発行：1件(9/21)</li> <li>新規創業者(H29年、H30年度創業者)への後追いサポートの実施。(9/18 1件実施済) ⇒12月中に全件対応予定</li> </ul> <p><b>【参考】新規事業者 合計8件</b> ※H29年度 小売業 1件、飲食業 2件、卸売業 1件 建設業 1件、サービス業 2件 ※H30年度 サービス業 1件</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワンストップ窓口 (商工水産課と商工会)への相談件数7件</li> <li>・商工水産課:2件</li> <li>・商工会:5件 (うち新規創業:1件)</li> </ul> <p>※H29年度9月末までの 実績/目標値(達成率) 8 / 23 件 (34.8%)</p>	21.9%	<p>創業支援事業計画による取組を強化するため、商工会と本計画について再検討し、計画制定後、初めてとなる「特定創業支援事業証明書」の発行に繋げることが出来た。</p> <p><b>【課題】</b> 本計画の周知不足により、新規事業者にどのような恩恵が受けられるか等の内容を伝えきれていない。 H29年、H30年に新規創業された方(8件)への情報提供や状況確認等のサポートが1件と遅れている。</p>	<p><b>【H30年度内の取組】</b> 各HPや市内ケーブルテレビ等のメディアを活用し、商工会と市が連携して、「創業支援事業計画」について情報発信を実施。 新規創業者へのサポートは、市と商工会で訪問し、各創業者が活かせる補助金やセミナー等の情報提供を実施する。(12月末まで)</p> <p><b>【H31年度以降の取組予定】</b> 連携・支援協力機関である事業者(商工会、金融機関等)が有する最新創業支援制度、相談等の情報を一覧にまとめて共有・公開する。</p>
	7. 創業支援利子補給金交付事業 ○利用件数 3件 ※ 100,000円×3件	<ul style="list-style-type: none"> <li>金融機関および不動産会社への事業説明訪問(7/25:5件)</li> <li>利用促進のため、補助金交付要綱の一部見直しを行う(11月中)</li> <li>外部サイトへの事業紹介の掲載(1月実施予定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○利用実績 0件</li> <li>※100,000円× 0件</li> <li>(問い合わせ:3件)</li> </ul>	*	<p>受付期間が平成31年1月からと決まっているため、現時点で実績はないが、問い合わせのあった3件分は事業利用を予定している。</p>	<p><b>【H30年度内の取組】</b> 関係機関との連携、情報発信を継続して行い、商工会への創業相談者との相談時には当事業の紹介を徹底するようとする。</p> <p><b>【H31年度以降の取組予定】</b> 問い合わせ、実績共に商工会申請分であるため、市内金融機関への周知(年度初めと申請前の12月 計2回)を行い、利用増に取組む。</p>

平成30年度の取組実績【観光分野】

	各年度末目標値 (観光施設入込客数)	実績値 (達成率)	評価 (年度末目標 / 時点の実績値)	H30年度末見込数	備考【各施設利用者数】(人)
30年度 9月末 ※暦年	120万人以上	80.9万人 (暫定値 67.4%)	B	107.6万人(見込み)	①114,524 ②20,104 ③257,669 ④7,491 ⑤1,468 ⑥8,139 ⑦173,947 ⑧13,692 ⑨77,793 ⑩83,971 ⑪50,702
29年度 3月末 (12ヶ月実績)	120万人以上 ※暦年	107.7万人 (89.8%)	B	◇見込根拠 9月末実績+過去3年 (10月~12月数)の平均値 ※ 80.9 + 26.7(万人)	①163,967 ②25,747 ③345,985 ④12,798 ⑤2,193 ⑥40,200 ⑦211,207 ⑧19,205 ⑨71,771 ⑩109,768 ⑪74,794
29年度 9月末		81.6万人 (当時暫定値 68.0%)	-		①118,267 ②19,745 ③269,932 ④9,669 ⑤1,725 ⑥31,956 ⑦159,741 ⑧13,298 ⑨52,430 ⑩82,597 ⑪56,291

※ 対象観光施設(11箇所) ①のいち動物公園 ②月見山こどもの森 ③ヤ・シィパーク ④絵金蔵 ⑤香南市サイクリングターミナル(宿泊者は除く)  
⑥天然色市場 ⑦やすらぎ市 ⑧あぐりのさと ⑨創造広場「アクトランド」 ⑩黒潮温泉 ⑪土佐カントリークラブ

■ 取組の総評 (※ 左の数値に対しての総評)  
(H30年度9月末までの取組とH31.3月末までの取組について)

【9月末までの取組について】  
各戦略の柱の取組目標は、概ね計画どおり達成しており、観光客入込客数もH29年度9月と比較すると80.9万人(前年比 約99.1%)であり、ほぼ同程度で推移している。

【3月末までの取組について】  
リョーマの休日～自然&体験キャンペーン(ポスト幕末維新博)に合わせ、ヤ・シィパークを魅力ある施設へと磨き上げるためのランドデザインの策定やロケーションを活かしたグランピングができる大型ベルテントの設置等を実施する。併せて、香南市観光施設連絡会において、ヤ・シィパークを核としてこれまで磨き上げてきた歴史も絡めた「自然・アクティビティ型の観光クラスター形成」に取り組む。  
また、物部川DMO協議会や観光協会と連携し、旅行会社へのセールス実施やサイクリングを活用した市内周遊イベントを開催する。  
また、外国人観光客がどれぐらい市内を訪れているのかを把握するため、市内観光施設に協力を依頼し、外国人観光客入込数の把握ができる体制を構築する。

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績(成果等)		総括【C】		今後の取組(対策、改善について)【A】
	取組に対するH30年度の目標値【P】		H30年度実績値(9月末実績)	指数及び目標値に対するH30.9月末時点の達成率	原因及び課題(分析)		
核となる観光拠点の形成	◆観光の振興						
	1. 三宝山観光拠点化事業 ○基本計画の精査・調整を踏まえた実施計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画の内容、課題及び要件等について精査・調整(4~7月)</li> <li>運営事業候補者と関係者間((株)ものべみらい、県、市)との協議(4~7月)</li> <li>香南市三宝山周辺エリア広域観光ビジョン検討委員会の開催(7/23)</li> <li>土地・建物所有者との無償賃借契約を解約(9/7)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○検討委員会を開催し、基本計画の整備計画について見直しを行い、三宝山の頂上だけでなく、三宝山の中腹やふもとにある観光施設との連携や、風力発電施設跡地等を活用するなど、三宝山エリア全体での観光拠点化を目指すことを確認。</li> </ul>	*	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画が今後持続可能な観光拠点となり得るのか、また、継続性や採算性などの観点から考えた際に、基本計画の整備計画をこのまま進めることは困難であると判断。</li> </ul>	<p>【H30年度内の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山頂については、運営事業候補者のうちの1者が、一体的な開発を検討中。</li> <li>基本構想や基本計画などで議論してきたコンセプトやターゲット等は今後も活かす。</li> <li>運営事業候補者が三宝山エリア全体での観光拠点化に向けた取り組みに参画していただけるように、事業者間の調整を行う。</li> </ul> <p>【H31年度以降の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>香南市に加え、物部川地域の他の観光関係事業者との連携・協働に向けた仕組みづくりを高知県と連携しながら関わっていく。</li> </ul>	
	2. ヤ・シィパーク周辺地域の活性化 ①自然体験型キャンペーンに向けた整備 ②ランドデザインの策定 ③体験プログラムの備品整備(ビーチ&キャンピングイベント整備) ④イベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヤ・シィパーク活性化推進協議会を中心として、ヤ・シィパーク周辺の活性化に向けた取組を実施する。(毎月1回開催)</li> <li>H31.2月より開催される「ポスト維新博」に向けた取組として、高知県観光拠点等整備事業費補助金(自然体験型観光資源強化事業)を活用する。⇒ 11/8 交付決定済</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然体験型キャンペーンに向けて高知県観光拠点等整備事業費補助金申請に向けた手続きを実施。</li> <li>ヤ・シィパーク内のランドデザインの作成準備を実施。</li> </ul>	*	<ul style="list-style-type: none"> <li>H31.2月より開催されるポスト幕末維新博(自然体験型キャンペーン)の取組に向けて、高知県観光拠点等整備事業費補助金申請手続きを行い、交付決定済。今後もヤ・シィパーク活性化推進協議会と連携を行いながら事業を進めていく。</li> </ul>	<p>【H30年度内の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実施計画に則り、ヤ・シィパークの活性化に向けた取組を速やかに実施する。</li> <li>毎月開催されているヤ・シィパーク活性化推進協議会で協議を継続する。</li> <li>グランピングイベント実施</li> <li>ランドデザインおよび整備計画の策定(3月末まで)</li> </ul> <p>【H31年度以降の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ランドデザインおよび整備計画を基に、速やかに対応を行い、ヤ・シィパーク周辺地域の活性化に向けて取り組む。</li> </ul>	

平成30年度の取組実績【観光分野】

	各年度末目標値 (観光施設入込客数)	実績値 (達成率)	評価 (年度末目標 / 時点の実績値)	H30年度末見込数	備考【各施設利用者数】(人)
30年度 9月末	120万人以上 ※暦年	80.9万人 (暫定値 67.4%)	B	107.6万人(見込み)	①114,524 ②20,104 ③257,669 ④7,491 ⑤1,468 ⑥8,139 ⑦173,947 ⑧13,692 ⑨77,793 ⑩83,971 ⑪50,702
29年度 3月末 (12ヶ月実績)	120万人以上 ※暦年	107.7万人 (89.8%)	B	◇見込根拠 9月末実績+過去3年 (10月~12月数)の平均値 ※ 80.9 + 26.7(万人)	①163,967 ②25,747 ③345,985 ④12,798 ⑤2,193 ⑥40,200 ⑦211,207 ⑧19,205 ⑨71,771 ⑩109,768 ⑪74,794
29年度 9月末		81.6万人 (当時暫定値 68.0%)	-		①118,267 ②19,745 ③269,932 ④9,669 ⑤1,725 ⑥31,956 ⑦159,741 ⑧13,298 ⑨52,430 ⑩82,597 ⑪56,291

※ 対象観光施設(11箇所) ①のいち動物公園 ②月見山こどもの森 ③ヤ・シィパーク ④絵金蔵 ⑤香南市サイクリングターミナル(宿泊者は除く)  
⑥天然色市場 ⑦やすらぎ市 ⑧あぐりのさと ⑨創造広場「アクトランド」 ⑩黒潮温泉 ⑪土佐カントリークラブ

■ 取組の総評 (※ 左の数値に対しての総評)  
(H30年度9月末までの取組とH31. 3月末までの取組について)

【9月末までの取組について】  
各戦略の柱の取組目標は、概ね計画どおり達成しており、観光客入込客数もH29年度9月と比較すると80.9万人(前年比 約99.1%)であり、ほぼ同程度で推移している。

【3月末までの取組について】  
リョーマの休日～自然&体験キャンペーン(ポスト幕末維新博)に合わせ、ヤ・シィパークを魅力ある施設へと磨き上げるためのランドデザインの策定やロケーションを活かしたグランピングができる大型ベルテントの設置等を実施する。併せて、香南市観光施設連絡会において、ヤ・シィパークを核としてこれまで磨き上げてきた歴史も絡めた「自然・アクティビティ型の観光クラスター形成」に取り組む。  
また、物部川IDMO協議会や観光協会と連携し、旅行会社へのセールス実施やサイクリングを活用した市内周遊イベントを開催する。  
また、外国人観光客がどれぐらい市内を訪れているのかを把握するため、市内観光施設に協力を依頼し、外国人観光客入込数の把握ができる体制を構築する。

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績(成果等)		総括【C】		今後の取組 (対策、改善について)【A】
	取組に対するH30年度の 目標値【P】		H30年度実績値 (9月末実績)	指数及び目標値に 対するH30.9月末 時点の達成率	原因及び課題(分析)		
核となる観光拠点の 形成	3. manamanaの取組について	①商品開発及びアイスバー生産体制の確立 ②新規販路開拓及び外販の強化 ③広報の充実 ④各種イベントへの出店、自主事業の企画 ・5/2より(株)ものべみらいからの役員派遣による戦略 の立て直しを実施。 ・4/5よりランチメニューのリニューアル。 ・GWには山田高校とコラボしたイベントを実施。 ・5/29には商談会に参加。また各メディア放送で商品が 取り上げられたことにより、外販注文が増加。また、お中 元ギフトを中心に売上高が大きく向上。 7/21より新商品の開発にも力を入れ、リニューアルオー プンを実施。 ・12月中旬にHPをリニューアル予定	○加工所兼店舗売上高 19,133千円 (H30.9月末現在)	36.4%	・繁忙期の生産量向上と人材の確保。 ・各取組の周知		【H30年度内の取組】 ・店頭販売、加工、外販に必要な人材の確保 ・アイスバー500本/日の生産を行うための生産 工程の確立。(目標ストック 10,000本) ・ランチメニューの拡充と新商品の開発。  【H31年度以降の取組予定】 ・外商強化による売上の向上にむけた取組 ・生産量向上に向けた検討 ・ヤ・シィパーク活性化推進協議会による集客機 能強化に向けた協議
	○加工所兼店舗売上高 52,578千円		※H29年度9月末までの 実績/目標値(達成率) 11,600 / 51,022千円 (20.5%)		【参考】(前年同月比 164.9%) H29年4月~9月売上高:11,600千円 H30年4月~9月売上高:19,133千円		
広域観光の推進	◆観光の振興	・県市共同のもと地域会場メインのPDCAシートを 作成 ・通年にかけて、様々な企画展、イベントを実施 する。 ・周辺施設と連携した誘客策を実施する。 ・HPやSNS等を活用するとともに、推進協議会が 発行する「かわら版」等とも連携した情報発信を行 う。	○ 60,649人	42.7%	絵金蔵については、昨年度同時期と比べると 70%と集客に苦戦している状況である。 特に7月の入館者数については、西日本豪雨の 影響により中四国県域の入館者数が減り、前年 同比50%と大きく落ち込んだ。		【H30年度内の取組】 企画展の開催を行い集客を図るとともに、HPや SNS等による情報発信を実施。 また、12/1~2に開催される冬の夏祭り時に、町 内に誘導看板を設置し、イベントを目的に訪れた 観光客等を絵金蔵へと誘導し、来館者増を図る。  【31年度以降の取組予定】 「志国高知 幕末維新博」は平成31年1月末で閉 幕となり、入館者数の減少が予想されるため、継 続した企画展の開催やイベントと連動した夜間 開館などを実施する。 また、トリップアドバイザーなどを活用し、外国人 観光客への情報発信を行い、誘客促進を図ると ともに、高速SA等の有料広告を活用し、さらに情 報発信を強化する。
	1. 歴史を中心とした博覧会(志国高知 幕末維新博)		・絵金蔵入館者数 5,490人(達成率 45.8%) ・アクトランド入館数 55,159人(達成率 42.4%)		【参考】 龍馬歴史館他 (有料8館) 6,185人  ※H29年度9月末までの 実績/目標値(達成率) 49,735 / 142,000人 (35.0%)  (絵金蔵) 7,797 / 12,000人 (アクトランド) 41,938 / 130,000人		

平成30年度の取組実績【観光分野】

	各年度末目標値 (観光施設入込客数)	実績値 (達成率)	評価 (年度末目標 / 時点の実績値)	H30年度末見込数	備考【各施設利用者数】(人)
30年度 9月末	120万人以上 ※暦年	80.9万人 (暫定値 67.4%)	B	107.6万人(見込み)	①114,524 ②20,104 ③257,669 ④7,491 ⑤1,468 ⑥8,139 ⑦173,947 ⑧13,692 ⑨77,793 ⑩83,971 ⑪50,702
29年度 3月末 (12ヶ月実績)	120万人以上 ※暦年	107.7万人 (89.8%)	B	◇見込根拠 9月末実績+過去3年 (10月~12月数)の平均値 ※ 80.9 + 26.7(万人)	①163,967 ②25,747 ③345,985 ④12,798 ⑤2,193 ⑥40,200 ⑦211,207 ⑧19,205 ⑨71,771 ⑩109,768 ⑪74,794
29年度 9月末		81.6万人 (当時暫定値 68.0%)	-		①118,267 ②19,745 ③269,932 ④9,669 ⑤1,725 ⑥31,956 ⑦159,741 ⑧13,298 ⑨52,430 ⑩82,597 ⑪56,291

※ 対象観光施設(11箇所) ①のいち動物公園 ②月見山こどもの森 ③ヤ・シヤパーク ④絵金蔵 ⑤香南市サイクリングターミナル(宿泊者は除く)  
⑥天然色市場 ⑦やすらぎ市 ⑧あぐりのさと ⑨創造広場「アクトランド」 ⑩黒潮温泉 ⑪土佐カントリークラブ

■ 取組の総評 (※ 左の数値に対しての総評)  
(H30年度9月末までの取組とH31.3月末までの取組について)

【9月末までの取組について】  
各戦略の柱の取組目標は、概ね計画どおり達成しており、観光客入込客数もH29年度9月と比較すると80.9万人(前年比 約99.1%)であり、ほぼ同程度で推移している。

【3月末までの取組について】  
リョーマの休日～自然&体験キャンペーン(ポスト幕末維新博)に合わせ、ヤ・シヤパークを魅力ある施設へと磨き上げるためのランドデザインの策定やロケーションを活かしたグランピングができる大型ベルテントの設置等を実施する。併せて、香南市観光施設連絡会において、ヤ・シヤパークを核としてこれまで磨き上げてきた歴史も絡めた「自然・アクティビティ型の観光クラスター形成」に取り組む。  
また、物部川IDMO協議会や観光協会と連携し、旅行会社へのセールス実施やサイクリングを活用した市内周遊イベントを開催する。  
また、外国人観光客がどれぐらい市内を訪れているのかを把握するため、市内観光施設に協力を依頼し、外国人観光客入込数の把握ができる体制を構築する。

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績(成果等)		総括【C】		今後の取組 (対策、改善について)【A】
	取組に対するH30年度の目標値【P】		H30年度実績値 (9月末実績)	指数及び目標値に対するH30.9月末時点の達成率	原因及び課題(分析)		
広域観光の推進	2. 観光施設間の連携 ○香南市観光施設連絡会の開催(年4回) ○市内各地域の観光施設や宿泊施設等の相互交流や活動の活性化を行い、市内への誘客や周遊促進を図る。また、ポスト幕末維新博に向けた観光クラスター形成を図る。	・観光施設連絡会の開催 ・連絡会の中で、観光施設の視察、見学を行うこと、施設間の情報共有を行う。 ・ポスト幕末維新博に向け、体験も絡めた観光クラスター形成に向けた協議を行う。	○香南市観光施設連絡会を1回開催。  ○クラスター形成については話し合いの場が設けられていない。		*	香南市観光施設連絡会は、各会員の日程調整が合わず1回のみの開催となっている。クラスター形成についても、話し合いの場が持っていないことからH31年度に向けて調整を図っていく。	【H30年度内の取組】 H30年11月下旬に第2回目の連絡会を開き、入込状況等の情報共有を行うとともに、ポスト幕末維新博に向けて各施設の体験メニューの洗い出しやクラスター形成に向けた協議を行う。  【H31年度以降の取組予定】 H31年度以降も、各施設の情報共有を図るとともに、市内宿泊者限定のクーポン券の発行やモデルコースの配布など宿泊施設と観光施設をつなぎ、周遊していただく施策などを展開する。 また、インスタグラムなどのSNSを活用したフォトコンテストなどを実施し、SNSを使った情報発信に取り組む。
	3. 歌舞伎でまちおこし ○イベント参加者数(延べ) 2,150人	・土佐絵金歌舞伎定期公演(7/21・22 800名) ・「九團次の会」の開催(6/15 139名) ・上方落語会(7/7 49名) ・香南市婚活セミナー(10/28 12名)	○イベント参加者数延べ 988人  ※H29年度9月末までの実績/目標値(達成率) 4,015 / 3,960人 (101.3%)		45.9%	H30年度は、文化庁等の補助金を活用せず、「歌舞伎でまちおこし実行委員会」の自主財源や公演収入内で実施できる事業に取り組んでいるため、目標数値はH29年度より低くなっている。  夏に開催された「絵金祭り」の来場者が少なく、絵金歌舞伎を見学する方も減少した。 【参考:絵金まつり来場者数】 H30年度: 15,000人 H29年度: 18,000人	【H30年度内の取組】 市主催の婚活事業と連携するなど、新たな角度の取組みを行っていることから、今後も他事業とのリンクを図る事を検討する。 また、「ワークショップ」を開催し歌舞伎に触れてもらう機会を創出し、歌舞伎でまちおこしの知名度向上を図る。  【H31年度以降の取組予定】 「土佐絵金歌舞伎伝承会」や「弁天座運営委員会」と連携し、歌舞伎公演を引き続き行っていくとともに、H30年度に実施する「歌舞伎」×「婚活」のような新たな分野との連携を図るため、実行委員会内で検討を行う。
	4. 塩の道を活用した取組 ○H29年度実績 - 590人 ・トレイルランニング レース参加者(H29実績) 25Kmコース...201人 50Kmコース...71人 ・30kmうおーく参加者(H29実績)...99人 ・他(ガイド等)...219人	・全体総会、香南支部総会の開催(6/23) ・役員会の開催 全体役員会(4/24,5/24,8/16,9/6,9/25) 香南支部役員会(5/7,8/29) ・トレラン打合せ会(4/17,5/9,6/28,10/1,10/3) ・第7回塩の道トレイルランニングレース2018 開催(10/7) ・30kmうおーく (H31.3.23に開催予定)	○ 448人 (速報値)  【内訳】 ・トレイルランニング レース参加者 25Kmコース...222人 60Kmコース...69人 ・30kmうおーく 3月開催予定...未開催 ・他(ガイド等)...157人		75.9%	トレイルランニングレースへの参加者は長距離を求める傾向にあることから、昨年の50kmから60kmにコース延伸したことで、香南市の魅力を凝縮したコースに磨き上げることができた。しかし、走行距離が増えたことで人手が増えた。塩の道に携わる会員の高齢化により、今回のように人手増加の際に、人手が足りない等の課題が浮き彫りとなった。	【H30年度内の取組】 H31.2月までに「塩の道ガイドの研修」を行い、人材育成に取り組む。 ・H31.3月23日に開催される予定の30kmうおーくに向けて調整を図る。  【H31年度以降の取組予定】 H30年度の取組に加え、新たにOTA(Online Travel Agent)に登録し、少人数向けのガイドウォーク事業をPRし、充実させる。

平成30年度の取組実績【観光分野】

	各年度末目標値 (観光施設入込客数)	実績値 (達成率)	評価 (年度末目標 / 時点の実績値)	H30年度末見込数	備考【各施設利用者数】(人)
30年度 9月末	120万人以上 ※暦年	80.9万人 (暫定値 67.4%)	B	107.6万人(見込み)	①114,524 ②20,104 ③257,669 ④7,491 ⑤1,468 ⑥8,139 ⑦173,947 ⑧13,692 ⑨77,793 ⑩83,971 ⑪50,702
29年度 3月末 (12ヶ月実績)	120万人以上 ※暦年	107.7万人 (89.8%)	B	◇見込根拠 9月末実績+過去3年 (10月~12月数)の平均値 ※ 80.9 + 26.7(万人)	①163,967 ②25,747 ③345,985 ④12,798 ⑤2,193 ⑥40,200 ⑦211,207 ⑧19,205 ⑨17,771 ⑩109,768 ⑪74,794
29年度 9月末		81.6万人 (当時暫定値 68.0%)	-		①118,267 ②19,745 ③269,932 ④9,669 ⑤1,725 ⑥31,956 ⑦159,741 ⑧13,298 ⑨52,430 ⑩82,597 ⑪56,291

※ 対象観光施設(11箇所) ①のいち動物公園 ②月見山こどもの森 ③ヤ・シィパーク ④絵金蔵 ⑤香南市サイクリングターミナル(宿泊者は除く)  
⑥天然色市場 ⑦やすらぎ市 ⑧あぐりのさと ⑨創造広場「アクトランド」 ⑩黒潮温泉 ⑪土佐カントリークラブ

■ 取組の総評 (※ 左の数値に対しての総評)  
(H30年度9月末までの取組とH31. 3月末までの取組について)

【9月末までの取組について】  
各戦略の柱の取組目標は、概ね計画どおり達成しており、観光客入込客数もH29年度9月と比較すると80.9万人(前年比 約99.1%)であり、ほぼ同程度で推移している。

【3月末までの取組について】  
リョーマの休日～自然&体験キャンペーン(ポスト幕末維新博)に合わせ、ヤ・シィパークを魅力ある施設へと磨き上げるためのランドデザインの策定やロケーションを活かしたグランピングができる大型ベルテントの設置等を実施する。併せて、香南市観光施設連絡会において、ヤ・シィパークを核としてこれまで磨き上げてきた歴史も絡めた「自然・アクティビティ型の観光クラスター形成」に取り組む。  
また、物部川DMO協議会や観光協会と連携し、旅行会社へのセールス実施やサイクリングを活用した市内周遊イベントを開催する。  
また、外国人観光客がどれぐらい市内を訪れているのかを把握するため、市内観光施設に協力を依頼し、外国人観光客入込数の把握ができる体制を構築する。

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績(成果等)		総括【C】		今後の取組 (対策、改善について)【A】
	取組に対するH30年度の目標値【P】		H30年度実績値 (9月末実績)	指数及び目標値に対するH30.9月末時点の達成率	原因及び課題(分析)		
広域観光の推進	5. サイクリング事業 ○レンタサイクル貸出人数 2,100人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクリングの普及を推進する組織づくり 地域おこし協力隊を中心とし、香南市内のサイクリストを中心に声がけをし、サイクリングチーム(クラブ)の設立を行う</li> <li>・快適なサイクリングのための環境整備 危険個所のリストアップや案内板・標識の整備 市内観光施設のサイクルオアシス整備</li> <li>・自転車を活用した観光への取組 サイクルトレイン(11/17開催予定) マックスライダー(4/22) シクロクロス大会(31/1/20)ポタリング</li> <li>・障がいのある方や高齢者などへのスポーツ促進 タンデム自転車の公道解禁に伴う取組強化</li> <li>・健康増進と環境に配慮した取組 健康サイクリングの開催(5/27、6/24、8/5)</li> <li>・タンデム自転車を利用したイベント タンデム自転車公道走行解禁に伴う走行会(9/1)ものべがわフェスタ タンデム自転車体験(10/14)69名</li> </ul>	○レンタサイクル貸出人 1,158人  ※H29年度9月末までの 実績/目標値(達成率) 1,194 / 1,800人 (66.3%)	55.1%	<p>レンタサイクル利用者は、過去3年(10月から翌3月まで)の平均値から、最終2,021人が見込まれ、目標値の2,100人に近い数字になる見込みだが、これからサイクリングに不向きな季節となることから、目標を達成できるようにイベントや広報などで周知を行い、サイクリングに興味を持ってもらえる取り組みを強化していく必要がある。</p> <p>※ サイクリング分野の資料にて詳細は説明。</p>	【H30年度内の取組】 【H31年度以降の取組予定】 ※別紙「平成30年度の取組実績【サイクリング専門委員会】」の資料にて、各取組を記載。	
	6. 物部川エリア広域観光連携事業 ○主要観光施設入込数 711,000人 (対象施設 9カ所) ・高知県立のいち動物公園 ・創造広場「アクトランド」 ・絵金蔵 ・西島園芸団地(南国市) ・高知県立歴史民俗資料館(南国市) ・香美市立やなせたかし記念館アンパンマンミュージアム(香美市) ・龍河洞(香美市) ・べん峡温泉(香美市) ・ザ・シックスタジアムかほくホテルアンドリゾート(香美市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物部川DMO協議会総会(6/20開催)</li> <li>・推進会議(4/18、5/25開催)</li> <li>・観光客動態調査によるデータ分析</li> <li>・ことりっぶ作成やHP構築等によるターゲットに向けた情報発信(2万部作成し、10月から配布開始)</li> <li>・旅行会社へのセールス活動等を通じた旅行商品の造成(セールス活動:6月広島・岡山、9月香港、10月大阪)</li> <li>・高知大学と連携したツアーコース開発とモニターツアーの実施(6/17 モニターツアー開催、四国フープ高松支店で旅行商品化)</li> <li>・ミキハウスエリア認定の継続</li> <li>・エリア認定を主体とした企画・イベントの開催(認定施設を中心としたデジタルスタンプラリーをGWと6月に開催 累計56名参加)</li> <li>・「いハ」向けPR動画や施設紹介サイトを作成(10月中旬公開)</li> <li>・物部川流域における「リアル」観光の実態調査および先進地視察(6月鳥羽バリアフリーセンター視察研修、4月-9月高知県おもてなし課と合同にて現地調査、継続中)</li> <li>・DMO事業視察研修、受入(5月山形県議会、8月福島市観光館ペンション協会、10月岩手県南振興局)</li> <li>・10/14 ものべがわフェスタ(集客5,000人)</li> <li>・11/8、9、10 長野県に視察研修</li> <li>・その他、観光PR活動(随時)</li> </ul>	○主要観光施設入込数 376,059人  ※H29年度9月末までの 実績/目標値(達成率) 410,814 / 665,200人 (61.8%)	52.9%	<p>7月、8月の西日本豪雨の影響により、夏休みにあたる繁忙期に集客が伸びなかった施設が多い。 悪天候の影響により農産物に大きな被害があったところも多いが、荒天、台風の際には臨時休業(休園)をする施設も多く、前年同比でも大きな影響が出ている。</p>	【H30年度内の取組】 10月から11月にかけて、各施設等でイベントが多く開催され、繁忙期となることから、より効果的に宣伝、PRする等の方法を協議会が中心となり、とりまとめていく。 また、インバウンド対策として、各施設の外国人の受入態勢、施設整備等を含めて調査し、改善していく必要がある。 入込人数については、H29年度のKPI実績値とH30度実績を比較し、増減理由(天候以外)について各施設担当者として11月中旬に協議し、協議会ができる事を実施する。 さらに、「ことりっぶ」等の全国的にも知名度がある媒体の活用や、HP・SNS等を活用し、物部川エリアの情報発信を行い、知名度向上を図る。  【H31年度以降の取組予定】 H29年度に全国初の「ウェルカムファミリー」の観光地・ものべがわエリアに認定されており、このエリア認定を活用した事業を引き続き展開し、子育てファミリーにやさしいエリアとしての認知度向上と誘客促進を図る。また、3市の広域観光組織として、3市が持つ歴史、自然、体験、食などを活かした広域観光クラスターの形成に取り組む。	

平成30年度の実績【観光分野】

	各年度末目標値 (観光施設入込客数)	実績値 (達成率)	評価 (年度末目標 / 時点の実績値)	H30年度末見込数	備考【各施設利用者数】(人)
30年度 9月末 ※暦年	120万人以上	80.9万人 (暫定値 67.4%)	B	107.6万人(見込み)	①114,524 ②20,104 ③257,669 ④7,491 ⑤1,468 ⑥8,139 ⑦173,947 ⑧13,692 ⑨77,793 ⑩83,971 ⑪50,702
29年度 3月末 (12ヶ月実績)	120万人以上 ※暦年	107.7万人 (89.8%)	B	◇見込根拠 9月末実績+過去3年 (10月~12月数)の平均値	①163,967 ②25,747 ③345,985 ④12,798 ⑤2,193 ⑥40,200 ⑦211,207 ⑧19,205 ⑨71,771 ⑩109,768 ⑪74,794
29年度 9月末		81.6万人 (当時暫定値 68.0%)	-	※ 80.9 + 26.7(万人)	①118,267 ②19,745 ③269,932 ④9,669 ⑤1,725 ⑥31,956 ⑦159,741 ⑧13,298 ⑨52,430 ⑩82,597 ⑪56,291

※ 対象観光施設(11箇所) ①のいち動物公園 ②月見山こどもの森 ③ヤ・シバーク ④絵金蔵 ⑤香南市サイクリングターミナル(宿泊者は除く)  
⑥天然色市場 ⑦やすらぎ市 ⑧あぐりのさと ⑨創造広場「アクトランド」 ⑩黒潮温泉 ⑪土佐カントリークラブ

■ 取組の総評 (※ 左の数値に対しての総評)  
(H30年度9月末までの取組とH31. 3月末までの取組について)

【9月末までの取組について】  
各戦略の柱の取組目標は、概ね計画どおり達成しており、観光客入込客数もH29年度9月と比較すると80.9万人(前年比 約99.1%)であり、ほぼ同程度で推移している。

【3月末までの取組について】  
リョーマの休日～自然&体験キャンペーン(ポスト幕末維新博)に合わせ、ヤ・シバークを魅力ある施設へと磨き上げるためのランドデザインの策定やロケーションを活かしたグランピングができる大型ベルテントの設置等を実施する。併せて、香南市観光施設連絡会において、ヤ・シバークを核としてこれまで磨き上げてきた歴史も絡めた「自然・アクティビティ型の観光クラスター形成」に取り組む。  
また、物部川IDMO協議会や観光協会と連携し、旅行会社へのセールス実施やサイクリングを活用した市内周遊イベントを開催する。  
また、外国人観光客がどれぐらい市内を訪れているのかを把握するため、市内観光施設に協力を依頼し、外国人観光客入込数の把握ができる体制を構築する。

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績(成果等)		総括【C】		今後の取組 (対策、改善について)【A】
	取組に対するH30年度の目標値【P】		H30年度実績値 (9月末実績)	指数及び目標値に対するH30.9月末時点の達成率	原因及び課題(分析)		
広域観光の推進	7. 市民と地域資源の総力を結集したビジネス支援事業 ○カタログ売上額 104,000千円 ・カタログ 4,000千円 ・ふるさと納税 100,000千円	・通年カタログの発行(1万部) 登録業者数45社、登録品目数 211品 ・サマーフェアチラシ発行 (平成30年6月 5,000部発行) ・いらプロ ・こうなん健康チャレンジポイントを継続活用 (4/1~9/30の実績 196枚) ・イベントへの出店や広報活動 維新博第2幕オープニングイベント等 5件へ出店。 11/11 横浜にてふるさと納税イベント参加	○カタログ販売額 38,052千円(速報値)  【内訳】 カタログ 1,229千円 ふるさと納税 36,823千円  ※H29年度9月末までの 実績/目標値(達成率) 計 14,256 / 20,000千円 (71.3%) ◇H29.9月末現在実績 【カタログ】 963 / 3,450千円 【ふるさと納税】 13,298 / 16,550千円	36.6%	カタログについては128%、ふるさと納税については、246%とH29年度9月末と比較し向上している。  カタログについては、健康チャレンジポイントを継続して行う等、利用増につながっていると考えている。	【H30年度内の取組】 ふるさと納税の繁忙期である年末にかけて、前年度のふるさと納税者にギフトカタログを同封する等のPRを行い、県内外、市内外に香南市の地域資源を発信し売上に繋げていく。また、県内外のイベント等に参加し、お客さんに直接説明や試食をさせることで、香南市ファンを1人でも多く作っていく。  【H31年度以降の取組予定】 カタログ販売については、事業者と連携した新たな登録品の開発や期間限定コラボセット開発などに取り組み、より魅力的な商品が提供できるようにすることで、売上増を図る。	
	8. 地域まるごと旅行商品の開発販売及び ランドオペレーター機能構築事業 ○観光客入込数 70万人 ※暦年  ※対象観光施設一覧 ①高知県立のいち動物公園 ②創造広場「アクトランド」 ③高知県立月見山こどもの森 ④絵金蔵 ⑤ヤ・シバーク ⑥香南市サイクリングターミナル(宿泊以外) ⑦弁天座	・「海から山から香南市を満喫！ポタリング」(5/12 参加 9名) ・「あじさい街道満喫&ワークショップ」最少催行人数に達さず中止 ・第7回土佐塩の道トレイルランニングレースブルーフィン(10/6 参加数58名) ・第7回土佐塩の道トレイルランニングレース(10/7 参加数249名) ・「カッティングボード作り体験モニター」(10/16 参加数8名) ・「山里羽尾の楽しい暮らし体験モニター」(11/7、12/21開催予定) ・「山北満喫体験モニター」(11/18開催予定) ・「サンセットシーカヤック」(11/24、12/1、12/15 開催予定) ・「赤岡着物美人」(12/2開催予定) ・「大人の社会見学」(1月開催予定) ・「土佐塩の道30kmうお〜」(3/23開催予定) ・「土佐の観光創生塾」参加(6/14、6/20、7/5、7/18、9/19、9/26) ・志国高知 幕末維新博 第二幕開幕関連イベント商談会参加(城西館) (4/18) ・高知県観光説明会(名古屋東急ホテル)商談会参加(5/29)	○観光客入込数 479,667人  ※H29年度9月末までの 実績/目標値(達成率) 475,548/700,000人 (67.9%)	68.5%	広報不足等により、予定した体験モニターツアー等の参加者が集まらず、催行できなかったものもあった。広報活動の強化が必要である。  高知県観光商談会に参加し、エージェントへの観光素材の情報提供や繋がりを作ることができた。	【H30年度内の取組】 各観光施設や地元住民等と連携した体験モニターツアー等を行い、香南市の魅力発信や集客数拡大を図る。 また、HPやSNSでの情報発信、高知県内の主要観光施設にチラシ配布する等、情報発信の強化に取り組む。 さらに、エージェント等との繋がりを活かした取組を検討していく。  【H31年度以降の取組予定】 これまでと同じ内容の体験モニターツアーを実施するのではなく、これまで活用できていない地域の素材を使った体験モニターツアーを開催し、新たな魅力の発信を行い、集客数の拡大を図る。	

平成30年度の取組実績【観光分野】

	各年度末目標値 (観光施設入込客数)	実績値 (達成率)	評価 (年度末目標 / 時点の実績値)	H30年度末見込数	備考【各施設利用者数】(人)
30年度 9月末 ※暦年	120万人以上	80.9万人 (暫定値 67.4%)	B	107.6万人(見込み)	①114,524 ②20,104 ③257,669 ④7,491 ⑤1,468 ⑥8,139 ⑦173,947 ⑧13,692 ⑨77,793 ⑩83,971 ⑪50,702
29年度 3月末 (12ヶ月実績)	120万人以上 ※暦年	107.7万人 (89.8%)	B	◇見込根拠 9月末実績+過去3年 (10月~12月数)の平均値 ※ 80.9 + 26.7(万人)	①163,967 ②25,747 ③345,985 ④12,798 ⑤2,193 ⑥40,200 ⑦211,207 ⑧19,205 ⑨71,771 ⑩109,768 ⑪74,794
29年度 9月末		81.6万人 (当時暫定値 68.0%)	-		①118,267 ②19,745 ③269,932 ④9,669 ⑤1,725 ⑥31,956 ⑦159,741 ⑧13,298 ⑨52,430 ⑩82,597 ⑪56,291

※ 対象観光施設(11箇所) ①のいち動物公園 ②月見山こどもの森 ③ヤ・シヤパーク ④絵金蔵 ⑤香南市サイクリングターミナル(宿泊者は除く)  
⑥天然色市場 ⑦やすらぎ市 ⑧あぐりのさと ⑨創造広場「アクトランド」 ⑩黒潮温泉 ⑪土佐カントリークラブ

■ 取組の総評 (※ 左の数値に対しての総評)  
(H30年度9月末までの取組とH31. 3月末までの取組について)

**【9月末までの取組について】**  
各戦略の柱の取組目標は、概ね計画どおり達成しており、観光客入込客数もH29年度9月と比較すると80.9万人(前年比 約99.1%)であり、ほぼ同程度で推移している。

**【3月末までの取組について】**  
リョーマの休日～自然&体験キャンペーン(ポスト幕末維新博)に合わせ、ヤ・シヤパークを魅力ある施設へと磨き上げるためのランドデザインの策定やロケーションを活かしたグランピングができる大型ベルテントの設置等を実施する。併せて、香南市観光施設連絡会において、ヤ・シヤパークを核としてこれまで磨き上げてきた歴史も絡めた「自然・アクティビティ型の観光クラスター形成」に取り組む。  
また、物部川IDMO協議会や観光協会と連携し、旅行会社へのセールス実施やサイクリングを活用した市内周遊イベントを開催する。  
また、外国人観光客がどれぐらい市内を訪れているのかを把握するため、市内観光施設に協力を依頼し、外国人観光客入込数の把握ができる体制を構築する。

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績(成果等)		総括【C】		今後の取組 (対策、改善について)【A】
	取組に対するH30年度の目標値【P】		H30年度実績値 (9月末実績)	指数及び目標値に対するH30.9月末時点の達成率	原因及び課題(分析)		
人材の育成	◆おもてなしの向上						
	1. まちの案内人会 ○会員数の増加を図る。 延べ24人(うち、新規2人) 【参考】 H29年度末: 22人 ○高知県観光ガイド連絡協議会等と連携し、案内人会の情報発信を行い、知名度向上を図る。	・高知県観光ガイド連絡協議会総会に参加(5/16) ・香南市案内人会総会 ・高知県観光ガイド連絡協議会HPに案内人会のページを新設 ・芸西地区のガイド団体と交流会の実施(11/21開催予定) ・勉強会や研修会等の実施	○会員数: 23人(新規1人増)  ○高知県観光ガイド連絡協議会HP等を活用し、活動報告を行うなど、情報発信を行っている。	95.8%	既会員の知人等に声をかける等の会員増に向けた取組を行ったことで、会員増につながった。  高知県観光ガイド連絡協議会のHPに活動記録等の情報を掲載し、案内人会の情報発信を行っている。	【H30年度内の取組】 他地域のガイド組織と合同研修を行い、ガイド人のスキルアップを図るとともに、他組織の取組等を学ぶことで、案内人会の組織体制の強化につなげていく。 高知県観光ガイド連絡協議会のHPを活用し、継続した情報発信を行っている。  【H31年度以降の取組予定】 引き続き、会員増に向けた勧誘に取り組み組織体制の強化を行うとともに、案内ができるガイド育成のために勉強会や研修会を開催する。また、実践の場を確保するためにも、観光協会等との連携を強化し、モニターツアー等に組み込んでもらうよう取り組む。	
国際観光の推進	◆外国人観光客の受入体制づくり						
	1. 外国人観光客の受入体制づくり ○外国人観光客受入研修を実施し、受入体制強化に向けた課題の洗い出しを行う ○高知新港への出店(年5回)	・高知新港への出店(6/18中止 8/16) ・外国人観光客受入研修の実施(8/30) ・絵金蔵外国人団体客受入(4/25 72名・10/8 99名) ・外国客船OP商談会参加への参加	○外国人観光客受入研修を開催(8/30)  ○高知新港への出店1回	*	高知県おもてなし課の事業を活用し、予定どおり、「外国人観光客受入研修」を開催。 基礎研修に12施設18人が参加し、外国人観光客を受け入れるための課題やインバウンド状況等を認識することができた。 さらに、個別研修には9施設が参加しており、課題の洗い出しや、解決に向けた取組を行っている。 ・市内観光施設等にどれぐらいの外国人観光客が訪れているのか把握できていない。 ・高知新港への出店に関しては、予定していた出店日が悪天候のため中止となったことから、1回のみ出店となっている。	【H30年度内の取組】 他地域のガイド組織と合同研修を行い、ガイド人のスキルアップを図るとともに、他組織の取組等を学ぶことで、案内会の組織体制の強化につなげていく。 高知県観光ガイド連絡協議会のHPを活用し、継続した情報発信を行っている。  【H31年度以降の取組予定】 新たにれんげいこうち事業として開設される観光案内所での多言語観光パンフレットの配布など県内施設での情報発信を行う。 インバウンド向けのモデルコース策定を行い、高知新港出店時やのいち駅などの玄関口で配布し、市内への誘客や周遊を図る。	



平成30年度の実績【サイクリング専門委員会】

	各年度末目標値 (レンタサイクル利用者数)	実績値 (達成率)	評価 (年度末目標 / 時点の実績値)	H30年度末見込数	備考
30年度 9月末	2,100人	1,158人 (暫定値 55.1%)	C	2,021人(見込み)	■ レンタサイクル施設 ・サイクリングターミナル ・のいち駅 ・創造広場「アクトランド」
29年度 3月末 (12ヶ月実績)	1,800人	2,060人 (114.4%)	B	◇見込根拠 9月末実績+過去3年の10月~ 翌3月までの人数の平均値 ※1,158+863(人)	
29年度 9月末		1,194人 (当時暫定値 66.3%)	-		

■ 取組の総評 (※ 左の数値に対しての総評)  
(H30年度9月末までの取組とH31. 3月末までの取組について)

**【9月末までの取組について】**  
 レンタサイクル利用者は、過去3年(10月から翌3月まで)の平均値から、最終2,021人が見込まれ、目標値の2,100人に近い数字になる見込みだが、これからサイクリングに不向きな季節となることから、目標を達成できるようにイベントや広報などで周知を行い、サイクリングに興味を持ってもらえる取り組みを強化していく必要がある。

**【3月末までの取組について】**  
 タンDEM自転車の公道解禁等、新たな自転車活用の場面が増えてきている。周知方法やPRに注力し、利用者増加の対策をとる必要がある。  
 また、県内外のサイクリストが集まる「独自のレース」を開催することを検討し、H31年度以降の開催に向け、関係機関と協議、準備を重ねていく。  
 また、観光部会とリンクしている数値目標とは別に、サイクリング専門委員会としての目標を掲げ、目指す形を確立させていく。

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括【C】		今後の取組 (対策、改善について)【A】
	取組に対するH30年度の 目標値【P】		H30年度実績値 (9月末実績)	指数及び目標値に 対するH30.9月末 時点の達成率	原因及び課題(分析)	
新 自転車を活用 した観光への 取組	1.各種イベントの開催 ○イベント参加者数 500人	<ul style="list-style-type: none"> <li>MAXライダー(スポーツMAX主催) 4/22 : 85人参加</li> <li>海から山からホッパリング(観光協会主催) 5/12 : 9人参加</li> <li>中四国プロダクション大会(高知サイクリング協会主催) 9/23・24 計 218人参加 (23日:113人/24日:105人)</li> <li>シクロ大会(スポット)として参加 10/7</li> <li>ツール・香南トレイル(観光協会主催) 11/17 → 12/15へ延期</li> <li>ホッパリング(MAZE-CLE 主催) 11/25</li> <li>シクロ大会(シクロ大会実行委員会主催) 31/1/20</li> <li>シクロ大会 試走 31/2</li> </ul>	○イベント参加者数 312人	62.4%	イベント参加者数は概ね順調である。ただし、H30年度のみ開催イベントもあることから、既存イベントの定着化と新たな取り組みを考えていく必要がある。	<b>【H30年度内の取組】</b> 今後予定されている各イベントの周知を強化し参加者を募る。  <b>【H31年度以降の取組予定】</b> 他県ではあまり行われていない「アドベンチャーライド」に焦点をあて、大会を開催するために取組を進めていく。
	2.香南市のサイクリングに対するPR ○香南市内にサイクリングを推進する団体の設立を目指し、PR活動を開始する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>鈴鹿simano0-トレース大会に「高知県」としてブース出店し、ツール・こつなん等、パンフレット500冊以上を配布(8/18・19)</li> <li>ものべがわフェスタにてタンDEM自転車、キックバイクの体験会を実施(10/14)</li> <li>タンDEM自転車 69人 / キックバイク 135人</li> <li>香南市PR用サイクルジャージの作成(8着)</li> <li>香南市PR用自転車の購入(1台)</li> <li>香南市のサイクリングを推進する団体の設立(MAZE-CLE設立)</li> </ul>	○サイクリングチーム「MAZE-CLE」が設立	*	H30年度よりサイクリングに特化した地域おこし協力隊を雇用し、市内のサイクリストやサイクリング関係者が繋がり、推進団体を設立することが出来た。	<b>【H30年度内の取組】</b> 県内外のサイクリストに香南市を推進するとともに、香南市民に、より興味を持っていただくように、香南市広報やケーブルテレビ等を活用し、推進を図っていく。 また、MAZE-CLE主催による取組を強化させ、サイクリングに関する様々な項目について推進の強化を図る。  <b>【H31年度以降の取組予定】</b> サイクリングの取組についてともに連携を図り、サイクリスト向けの魅力発信を図る。 「ブルーラインの延伸」を高知県担当課へ要望をしていく。
	3.レンタサイクルの利用者促進 ○レンタサイクル貸出人数 2,100人	<ul style="list-style-type: none"> <li>サイクリングターミナル内の自転車更新</li> <li>クロスバイク 3台</li> <li>ロードバイク 1台</li> <li>タンDEM自転車 2台</li> <li>子供用クロスバイク 4台(予定)</li> <li>ヘルメット 17個 (大人15、子供2)</li> </ul>	○利用件数 1,158人  ※H29年度9月末までの実績/目標値(達成率) 1,194 /1,800人(66.3%)	55.1%	概ね順調に推移しているが、目標値はH29年度より高く設定していることから、今後サイクリングには不向きな季節になること等を加味すると目標が達成できない可能性がある。 また、レンタサイクルが行われていることについて周知不足が課題である。	<b>【H30年度内の取組】</b> 香南市広報やケーブルテレビ等を活用し、推進を図る。  <b>【H31年度以降の取組予定】</b> サイクリングターミナルの自転車の種類(キックバイク等)を増やし、大人から子供まで体験できる整備を検討。

平成30年度の実績【サイクリング専門委員会】

	各年度末目標値 (レンタサイクル 利用者数)	実績値 (達成率)	評価 (年度末目標 / 時点の実績値)	H30年度末見込数	備考
30年度 9月末	2,100人	1,158人 (暫定値 55.1%)	C	2,021人(見込み)	■ レンタサイクル施設 ・サイクリングターミナル ・のいち駅 ・創造広場「アクトランド」
29年度 3月末 (12ヶ月実績)	1,800人	2,060人 (114.4%)	B	◇見込根拠 9月末実績+過去3年の10月~ 翌3月までの人数の平均値 ※1,158+863(人)	
29年度 9月末		1,194人 (当時暫定値 66.3%)	-		

■ 取組の総評 (※ 左の数値に対しての総評)  
(H30年度9月末までの取組とH31.3月末までの取組について)

**【9月末までの取組について】**  
 レンタサイクル利用者は、過去3年(10月から翌3月まで)の平均値から、最終2,021人が見込まれ、目標値の2,100人に近い数字になる見込みだが、これからサイクリングに不向きな季節となることから、目標を達成できるようにイベントや広報などで周知を行い、サイクリングに興味を持ってもらえる取り組みを強化していく必要がある。

**【3月末までの取組について】**  
 タンデム自転車の公道解禁等、新たな自転車活用の場面が増えてきている。周知方法やPRに注力し、利用者増加の対策をとる必要がある。  
 また、県内外のサイクリストが集まる「独自のレース」を開催することを検討し、H31年度以降の開催に向け、関係機関と協議、準備を重ねていく。  
 また、観光部会とリンクしている数値目標とは別に、サイクリング専門委員会としての目標を掲げ、目指す形を確立させていく。

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括【C】		今後の取組 (対策、改善について)【A】
	取組に対するH30年度の 目標値【P】		H30年度実績値 (9月末実績)	指数及び目標値に 対するH30.9月末 時点の達成率	原因及び課題(分析)	
自転車を活用 した観光への 取組	4. サイクルオアシスの充実 ○新規サイクルオアシスの 設置 5件	・既存サイクルオアシスの推進 (アクトランド・動物公園・ヤシィ) ・新規サイクルオアシスの設置 (羽尾大釜荘/サイクリングターミナル)	○新規サイクルオアシ スの設置 2件	40.0%	「サイクルオアシス」の周知不足もあるが目標件数 には至っていない。周知を図り、登録先の確保が必 要。	【H30年度内の取組】 香南市広報やケーブルテレビ等を活用し、推進を図って いく。また、県下ではコンビニの登録も多いことから、市内 にある民間業者等にも説明を実施し、推進を図る。 【H31年度以降の取組予定】 宿泊施設や観光施設だけでなく、飲食店などにも設置 できると、サイクリストも足を止めやすくなるため、観光協 会などと連携し、飲食店にサイクルオアシスを設置するこ とを目指す。
障がいのある方 や高齢者等への スポーツ推進	1. タンデム自転車の利用強化 ○利用件数 50件	・タンデム自転車の公道解禁に向けた取組 9/1よりタンデム自転車の一般公道走行が解禁。 同日に高知県警察本部と連携し、タンデム自転 車の試走会をサイクリングターミナルで実施。高 知新聞、KUTV等が取材を実施。 また、後日になるが、RKC、さんさんテレビ、高知 ケーブルテレビ等各メディアが取材をし放映。 ・タンデム自転車の普及に向けた取組 ・中四国ブロックサイクリング大会において、タンデム自 転車での参加者(1組) ・タンデム自転車のレンタル実績(9/1~10/29) 5件(10人) ※9月(3件) /10月(2件)	○利用件数 43件  【内訳】 ・レンタル 3件 ・ものがわフェスタ 40件	86.0%	タンデム自転車の公道解禁によりタンデム自転車 を2台更新し、普及に向けた取組を行った。 高知県下ではサイクリングターミナルのみタンデ ム自転車を保有していることから、この強みを活か し、視覚障がい者や高齢者等にサイクリングを楽し む機会の提案を強化していく。 ただし、タンデム自転車は初めて乗るには危険な 部分もあるので、前に乗る方の育成が求められる。 また、タンデム自転車についての周知が不足して いる。	【H30年度内の取組】 H31.2に香南市内にある自動車学校のコースを借 り、タンデム自転車の乗り方教室を実施予定。 また、福祉事務所、視覚障害者協会、盲学校、サイク リング協会等関係機関と連携し、タンデム自転車の こぎ手(パイロット)の育成と視覚障がい者に自転 車を体験していただく取組を実施する。 広報や各メディアを活用したタンデム自転車の推 進を実施していく。 【H31年度以降の取組予定】 H30年度に引き続き、講習会を開き、パイロットの育 成を行う。 タンデム自転車を利用したイベントを開催し、周知 を進める。
健康増進と環境 に配慮した取組	1. 健康ポイントを活用した取組 ○健康サイクリング 開催回数 3回 (参加者人数 60名)	・香南市健康サイクリングの開催(5/27、 6/24、8/5) 3回実施 第1回 10kmコース 9人参加 第2回 12kmコース 7人参加 第3回 16kmコース 9人参加 延べ 25人 参加	○健康サイクリング 開催回数 3回 (参加者人数 25名)	開催回数 100.0%	開催回数を行えたが、目標参加者の確保に繋がら なかった。 健康サイクリングの周知を強化していく必要がある。	【H30年度内の取組】 健康サイクリングについて整理を行い、来年度に向 けて周知を実施する。  【H31年度以降の取組予定】 アンケート結果では、回数を増やして欲しい、距離 を伸ばして欲しい等の積極的な意見が多かったこ とから、ニーズを把握し、適切なイベントにしてい く。

平成30年度の実績【サイクリング専門委員会】

	各年度末目標値 (レンタサイクル 利用者数)	実績値 (達成率)	評価 (年度末目標 / 時点の実績値)	H30年度末見込数	備考
30年度 9月末	2,100人	1,158人 (暫定値 55.1%)	C	2,021人(見込み)	■ レンタサイクル施設 ・サイクリングターミナル ・のいち駅 ・創造広場「アクトランド」
29年度 3月末 (12ヶ月実績)	1,800人	2,060人 (114.4%)	B	◇見込根拠 9月末実績+過去3年の10月~ 翌3月までの人数の平均値 ※1,158+863(人)	
29年度 9月末		1,194人 (当時暫定値 66.3%)	-		

■ 取組の総評 (※ 左の数値に対しての総評)  
(H30年度9月末までの取組とH31. 3月末までの取組について)

**【9月末までの取組について】**  
 レンタサイクル利用者は、過去3年(10月から翌3月まで)の平均値から、最終2,021人が見込まれ、目標値の2,100人に近い数字になる見込みだが、これからサイクリングに不向きな季節となることから、目標を達成できるようにイベントや広報などで周知を行い、サイクリングに興味を持ってもらえる取り組みを強化していく必要がある。

**【3月末までの取組について】**  
 タンデム自転車の公道解禁等、新たな自転車活用の場面が増えてきている。周知方法やPRに注力し、利用者増加の対策をとる必要がある。  
 また、県内外のサイクリストが集まる「独自のレース」を開催することを検討し、H31年度以降の開催に向け、関係機関と協議、準備を重ねていく。  
 また、観光部会とリンクしている数値目標とは別に、サイクリング専門委員会としての目標を掲げ、目指す形を確立させていく。

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括【C】		今後の取組 (対策、改善について)【A】
	取組に対するH30年度の 目標値【P】		H30年度実績値 (9月末実績)	指数及び目標値に 対するH30.9月末 時点の達成率	原因及び課題(分析)	
健康増進と環境 に配慮した取組	2. CO2の排出抑制 ○市のCO2削減目標値の計画(担当課 主導)に取組を盛り込み推進してい く。	・サイクリングチームが主導で行う様々な イベントを推進し、自転車を愛用してい ただく取組を強化していく。 ※6.7KM走る度に CO2は1Kg削減	○現在計画に向けて 担当課が調整を図っ ている。	*	・CO2の削減数との基準等を明確化する必要があ る。	【H30年度内の取組】 担当課と連携し、目標数値を年度内に明確化にす る。 【H31年度以降の取組予定】 サイクリングチームの人数を増やすことによりCO2 の排出量を削減させる。 市役所内での自転車通勤者を増やす。
	1. 交通マナーや交通事故等へのリスク に対する備え ○レンタサイクル貸出し時のヘルメット 着用率を目標値として設定する。	・レンタサイクル貸出し時の注意喚起の取組 強化 ・サイクリングターミナルでの貸出し時に保 険の紹介等、注意喚起用のラミネートを作 成し、貸出前に説明を実施している。 ・「自転車安全利用五則」の推進を広報・HP 等で推進。 ・「自転車を活用したまちづくりを推進する 市区町村長の会」に加入予定。 ・サイクリングターミナルのレンタル料金の 見直しを検討。	○目標値設定に向け て調整を図っている。	*	ヘルメットの貸出しが有料であり、強く義務化もさ れていないことから、強く呼びかけることが出来な い。 また、これまでに、レンタサイクル貸出し時のヘル メット着用人数を把握していないことから、基準値 を設定できない状況である。	【H30年度内の取組】 各レンタサイクル事業者のヘルメット貸出金額やレ ンタル方法などの現状を整理する。また、目標値を 設定するためにレンタサイクルでの実数把握に取り 組んでいく。 【H31年度以降の取組予定】 H30年度での実数把握を元に、整理をして目標値を 設定し、着用率を向上させる。

平成30年度の実績【住宅分野】

数値目標	目標値 (H30年度末)	実績値 (H30.9月末現在)	全体の評価 (H30.9月末現在)	目標値 (H31年度末)
			-	

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括【C】		今後の取組 (対策、改善について)【A】
	取組に対するH30年度の 目標値【P】		H30年度実績値 (9月末実績)	指数及び目標値に 対するH30.9月末 時点の達成率	原因及び課題(分析)	
住環境の整備	1. 住宅リフォーム制度 ○利用件数 75件 (予算額15,000千円)	・市内に所有し、居住する個人住宅を対象に、住宅のリフォーム工事を行った場合に、その工事費用の20%(上限20万円)を補助。	○交付決定件数 100件 (交付予定金額 14,872千円)  ※H29年度9月末までの 実績/目標値(達成率) 95 / 75件 (126.7%)	133.3%	補助金残額は173千円であるが、補助金についての問い合わせある。 H31年2月までに「工事完了する」ものであれば、申請済のものが取下げ等により補助金の枠がつかまれば利用できる旨を伝え、予備受付もしている。	【H30年度内の取組】 リフォーム補助金の需要は多く有り、31年度からの事業継続が望まれている。また、上限20万円を利用していない方より「再度利用できないか」との声も多くあり、補助金交付要綱の変更も検討が必要である。  【H31年度以降の取組予定】 補助金20万円を利用していない方の再度利用方法を検討し、募集をする予定。
	1. 市営住宅の整備 ○浄化槽等設置工事 30戸	・生活環境の保全、及び公衆衛生の向上に向け、単独処理浄化槽から合併浄化槽への変更と、福祉対応型改修工事として、手すりを新設する。 ・11月より10戸の工事を実施(累計14戸)	○浄化槽等設置工事 4戸  ※H29年度9月末までの 実績/目標値(達成率) 10 / 30件 (33.3%)			
住宅の耐震化	1. 住宅耐震診断事業 ○利用件数 120件	・木造住宅…診断費用の自己負担3千円 ・非木造住宅…3万円補助	○利用件数 65件  ※H29年度9月末までの 実績/目標値(達成率) 60 / 120件 (50.0%)	54.2%	H28年度の熊本地震の影響等もあり近年お問い合わせも多く、目標値に近い実績があったが、時間が経過するとともに申請件数は減少傾向にある。ただし、各地で震災があった後は、問い合わせが多くなる傾向にあることから、震災前の対策として取り組んでいただけるように周知していく必要がある。	【H30年度内の取組】 戸別訪問の実施やふれあい祭りでチラシの配布・ブースの展示を予定しており、引き続き啓発を行う。  【H31年度以降の取組予定】 市広報・HPへの掲載、自主防連絡会で周知、戸別訪問の実施、チラシ配布、ふれあい祭りでブース展示を予定。H31年度以降もH30年度並みの件数が見込まれる。
	2. 住宅耐震改修費補助事業 ○利用件数 ・改修設計90件 ・改修工事90件	・香南市「住宅耐震診断事業」による耐震診断を受診し、総合評点数が1.0未満と診断された住宅に対して、設計及び改修費用を補助。 (設計1棟あたり上限305千円、改修1棟あたり上限1,000千円)	○利用件数 改修設計57件 改修工事44件  ※H29年度9月末までの 実績/目標値(達成率) 設計 58/90件(64.4%) 工事 59/90件(65.6%)			

平成30年度の実績【住宅分野】

数値目標	目標値 (H30年度末)	実績値 (H30.9月末現在)	全体の評価 (H30.9月末現在)	目標値 (H31年度末)
			-	

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括【C】		今後の取組 (対策、改善について)【A】
	取組に対するH30年度の 目標値【P】		H30年度実績値 (9月末実績)	指数及び目標値に 対するH30.9月末 時点の達成率	原因及び課題(分析)	
住宅の耐震化	1. コンクリートブロック塀耐震対策事業 ○利用件数 18件	・避難路等に面している危険性の高いコンクリートブロック塀等を撤去したり、安全なフェンスなどに造り替える経費に対して補助。(上限205千円)	○利用件数 18件 ※H29年度9月末までの 実績/目標値(達成率) 11/15件 (73.3%)	100.0%	H30.6月に発生した大阪府北部地震の影響で件数は増加している。	【H30年度内の取組】 香南市HP等で引き続き制度の周知・啓発を行う。  【H31年度以降の取組予定】 広報誌・HPへの掲載、チラシ配布を予定。H31年度以降もH30年度並みの件数が見込まれる。
	1. 老朽住宅等除却事業 ○利用件数 20件	・避難路等に面している又は延焼等により近隣住宅に影響する場所に存在する著しく老朽化した住宅等の除却に要する経費に対して補助。(補助率80%、上限1,645千円)	○利用件数 20件 ※H29年度9月末までの 実績/目標値(達成率) 16/20件 (80.0%)	100.0%	老朽化した空家の増加・制度の認知度の高まりにより、件数は増加している。	【H30年度内の取組】 香南市HP等で引き続き制度の周知・啓発を行う。  【H31年度以降の取組予定】 広報誌・HPへの掲載、チラシ配布を予定。来年度以降は空家の増加により、件数の増加が見込まれる。
空き家対策	2. 空き家バンク事業 ○空き家バンク登録件数 20件(延べ) H30年度新規 2件  ※H29年度末 登録のべ件数：18件 (内訳/H28年度：3件 H29年度：15件)	・移住希望者にスムーズな住宅提供が出来るように、空き家バンク登録物件に係る支援策「空き家改修事業費等補助金」と合わせ、バンク登録の広報(市広報・チラシ)に加え、まちづくり協議会をはじめとした地域住民や不動産業者等、民間との協力・連携を強化し、空き家情報の収集を行う。 また、空き家所有者には登録時の事務手続きを支援する。	○空き家バンク登録 件数 25件(延べ) ・H30年度新規 7件  【参考】 ・25件の内訳 売買 5件 賃貸 5件成約済 交渉中 1件 空物件 14件  ※H29年度9月末までの 実績/目標値(達成率) 14 / 5件 (280%)	125.0%	空き家バンク登録を広報(市広報誌やチラシの配布)、特にまちづくり協議会への呼びかけで協議会長や自治会長から情報が得られた。また、本年度から活用できる空き家調査を開始し、外観評価の高い空き家の所有者や管理者宛てに手紙を送付し、登録へのアプローチをしていることで物件数の増につながっている。	【H30年度内の取組】 まちづくり協議会をはじめとして、地域住民や不動産業者と協力・連携し、空き家情報の収集と市内外に向けた情報発信に継続して取り組む。  【H31年度以降の取組予定】 空き家バンクの活用事例もPRしながら、まちづくり協議会をはじめとして、地域住民や不動産業者との協力・連携し、空き家情報の収集と市内外に向けた情報発信に継続して取り組む。

平成30年度の実績【住宅分野】

数値目標	目標値 (H30年度末)	実績値 (H30.9月末現在)	全体の評価 (H30.9月末現在)	目標値 (H31年度末)
			-	

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括【C】		今後の取組 (対策、改善について)【A】
	取組に対するH30年度の 目標値【P】		H30年度実績値 (9月末実績)	指数及び目標値に 対するH30.9月末 時点の達成率	原因及び課題(分析)	
空き家対策	1. 空き家改修事業費等補助金 (空き家改修事業:国県財源措置あり、 空き家修繕及び荷物処分等支援事業 :一部県財源措置あり)	<p>・市の空き家バンクに登録し、貸借や売買の相手が決まった場合、空き家の所有者または空き家を使用する移住者に対し、耐震化を必須として、トイレの水洗化等住宅性能の向上のためのリフォームに要する費用や、荷物整理処分費を補助する。</p> <p>また、既に耐震化の図られている登録物件の場合は、軽微な修繕費(200千円以下)で居住に際し支障となる箇所の取替、朽ちた畳の交換、網戸の設置等を補助する。</p>	<p>○空き家改修事業 2件(相談件数4件)</p> <p>※H29年度9月末までの 実績/目標値(達成率) 1/3件(33.3%)</p>	<p>○空き家改修事業 66.7%</p>	<p>市外からの移住者と空き家バンク物件のマッチングが成立した場合に活用できる補助事業であり、古い空き家物件が多いためマッチング成立数が少ないことが原因の一つ。</p> <p>また、空き家所有者は売買を希望する機会が多いが、移住者は始めは「賃貸」、気に入れば「購入」という段階を希望する人もあり、ミスマッチとなっている。</p> <p>特に、県外移住者は何度も現地確認をすることが困難なため、来訪したタイミングで希望物件が見つからず、マッチング成立までに時間を要している。</p>	<p>【H30年度内の取組】 さらに空き家を掘り起こし、バンク登録物件を増やすことでマッチング成立率の向上を図る。</p> <p>【H31年度以降の取組予定】 移住者へのスムーズな住宅提供ができる補助金活用策の改善を図る。 例えば、荷物処分支援事業はマッチング成立前に活用できる補助金とする等、補助金活用時期を検討する。 なお、検討の際には、補助事業後は空き家バンクに一定期間は登録する等の条件を明確に付し、市の政策として活用できる空き家住宅としていくことが必要である。 (※現在も空き家改修事業は事業終了後10年間、空き家修繕と荷物処分支援事業は事業終了後5年間、住み続けることや空き家バンクに継続登録する条件を付している。)</p>
	<p>○空き家改修事業 3件 (補助率10/10、上限1,824千円)</p> <p>○空き家修繕事業 2件 (補助率10/10、県外移住者 上限200千円、 県内市外移住者 上限100千円)</p> <p>○荷物処分等支援事業 2件 (補助率1/2、県外移住者 上限200千円、 県内市外移住者 上限100千円)</p>		<p>○空き家修繕事業 0件 (1件 申請手続き中)</p> <p>○荷物処分等支援事業 0件(相談件数 2件)</p> <p>※H29年度9月末までの 実績/目標値(達成率) 1/2件(50%)</p>	<p>○空き家修繕事業 0%</p> <p>○荷物処分等支援 事業 0%</p>		